

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP04/018162

International filing date: 06 December 2004 (06.12.2004)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2003-407454
Filing date: 05 December 2003 (05.12.2003)

Date of receipt at the International Bureau: 20 January 2005 (20.01.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

24.12.2004

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年12月 5日
Date of Application:

出願番号 特願2003-407454
Application Number:

[ST. 10/C] : [JP2003-407454]

出願人 ソニー株式会社
Applicant(s): 松下電器産業株式会社

2004年11月22日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小川

洋

【書類名】 特許願
【整理番号】 0390790410
【提出日】 平成15年12月 5日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 H04N 7/16
【発明者】
 【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内
 【氏名】 北里 直久
【発明者】
 【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内
 【氏名】 山下 雅美
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 徳田 克己
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 村上 弘規
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 山本 雅哉
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 三浦 康史
【特許出願人】
 【識別番号】 000002185
 【氏名又は名称】 ソニー株式会社
【特許出願人】
 【識別番号】 000005821
 【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社
【代理人】
 【識別番号】 100082131
 【弁理士】 稲本 義雄
 【氏名又は名称】
 【電話番号】 03-3369-6479
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 032089
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9708842

【書類名】特許請求の範囲

【請求項 1】

暗号化されたコンテンツ、前記暗号化されたコンテンツを復号するための第1の鍵と利用条件を含むサプライセンス、および暗号化された前記サプライセンスを復号するための第2の鍵を含むメインライセンスを供給するサーバと、ネットワークを介して相互に接続されたコンテンツ処理装置から構成されるコンテンツ配信システムにおいて、

前記サーバは、

前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記メインライセンスを供給する第1の供給手段と、

前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記暗号化されたコンテンツ、並びに前記サプライセンス、および視聴タイプに対応するサプライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給手段とを含み、

前記コンテンツ処理装置は、

前記サーバから供給された前記ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサプライセンスを選択し、選択した前記サプライセンスに前記メインライセンスを適用して復号し、その結果得られる前記第1の鍵を用いて、前記暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生手段を

含む

ことを特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項 2】

前記ライセンスタイプ識別情報は、試視聴用のサプライセンスと本視聴用のサプライセンスを識別するためのものである

ことを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ配信システム。

【請求項 3】

暗号化されたコンテンツ、前記暗号化されたコンテンツを復号するための第1の鍵と利用条件を含むサプライセンス、および暗号化された前記サプライセンスを復号するための第2の鍵を含むメインライセンスを供給するサーバと、ネットワークを介して相互に接続されたコンテンツ処理装置から構成されるコンテンツ配信システムのコンテンツ配信方法において、

前記サーバにおける、前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記メインライセンスを供給する第1の供給ステップと、

前記サーバにおける、前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記暗号化されたコンテンツ、並びに前記サプライセンス、および視聴タイプに対応するサプライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給ステップと、

前記コンテンツ処理装置における、前記サーバから供給された前記ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給された前記サプライセンスを選択し、選択した前記サプライセンスに前記メインライセンスを適用して復号し、その結果得られる前記第1の鍵を用いて、前記暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生ステップと

含むことを特徴とするコンテンツ配信方法。

【請求項 4】

ネットワークを介してサーバから配信される、暗号化されたコンテンツ、前記暗号化されたコンテンツを復号するための第1の鍵と利用条件を含むサプライセンス、および暗号化された前記サプライセンスを復号するための第2の鍵を含むメインライセンスを処理するコンテンツ処理装置において、

前記サーバから前記ネットワークを介して、前記メインライセンスを取得する取得手段と、

前記サーバから前記ネットワークを介して、前記暗号化されたコンテンツ、並びに前記サプライセンス、および視聴タイプに対応するサプライセンスを識別するためのライセン

タイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを受信する受信手段と、

前記ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択した前記サブライセンスに前記メインライセンスを適用して復号し、その結果得られる前記第1の鍵を用いて、前記暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生手段と
を含むことを特徴とするコンテンツ処理装置。

【請求項5】

前記ライセンスタイプ識別情報は、試視聴用のサブライセンスと本視聴用のサブライセンスを識別するためのものである

ことを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ処理装置。

【請求項6】

前記再生手段は、前記ライセンスタイプ識別情報に基づき、はじめに、前記暗号化された試視聴用のサブライセンスを選択し、選択した試視聴用の前記サブライセンスに前記メインライセンスを適用して復号し、その結果得られる前記第1の鍵を用いて、前記暗号化されたコンテンツを復号して再生し、次に、前記暗号化された本視聴用のサブライセンスを選択し、選択した本視聴用の前記サブライセンスに前記メインライセンスを適用して復号し、その結果得られる前記第1の鍵を用いて、前記暗号化されたコンテンツを復号して再生する

ことを特徴とする請求項5に記載のコンテンツ処理装置。

【請求項7】

前記再生手段は、前記ライセンスタイプ識別情報に基づき、はじめに、前記暗号化された試視聴用のサブライセンスを選択し、選択した試視聴用のサブライセンス前記サブライセンスに前記メインライセンスを適用して復号し、その結果得られる前記試視聴用のサブライセンスに含まれる利用条件に従い、前記試視聴用のサブライセンスに含まれる第1の鍵を用いて、前記暗号化されたコンテンツを復号して再生し、次に、前記暗号化された本視聴用のサブライセンスを選択し、選択した本視聴用の前記サブライセンスに前記メインライセンスを用いて復号し、その結果得られる前記本視聴用のサブライセンスに含まれる利用条件に従い、前記試視聴用のサブライセンスに含まれる前記第1の鍵を用いて、前記暗号化されたコンテンツを復号して再生する

ことを特徴とする請求項5に記載のコンテンツ処理装置。

【請求項8】

前記受信手段は、前記サーバから前記ネットワークを介して、前記暗号化されたコンテンツ、並びに暗号化された試視聴用のサブライセンス、暗号化された本視聴用のサブライセンス、および前記暗号化された試視聴用のサブライセンスと前記暗号化された本視聴用のサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを、MPEG(Moving Picture Experts Group)2一トランスポートストリームとして受信する

ことを特徴とする請求項5に記載のコンテンツ処理装置。

【請求項9】

前記ライセンス情報ファイルは、ECM (Entitlement Control Message) である

ことを特徴とする請求項8に記載のコンテンツ処理装置。

【請求項10】

前記受信手段は、前記サーバから前記ネットワークを介して、マルチキャスト方式で配信された前記MPEG2一トランスポートストリームを受信する

ことを特徴とする請求項8に記載のコンテンツ処理装置。

【請求項11】

ネットワークを介してサーバから配信される、暗号化されたコンテンツ、前記暗号化されたコンテンツを復号するための第1の鍵と利用条件を含むサブライセンス、および暗号化された前記サブライセンスを復号するための第2の鍵を含むメインライセンスを処理するコンテンツ処理方法において、

前記サーバから前記ネットワークを介して、前記メインライセンスを取得する取得ステ

ップと、

前記サーバから前記ネットワークを介して、前記暗号化されたコンテンツ、並びに前記サブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを受信する受信ステップと、

前記ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択した前記サブライセンスに前記メインライセンスを適用して復号し、その結果得られる前記第1の鍵を用いて、前記暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生ステップとを含むことを特徴とするコンテンツ処理方法。

【請求項12】

ネットワークを介してサーバから配信される、暗号化されたコンテンツ、前記暗号化されたコンテンツを復号するための第1の鍵と利用条件を含むサブライセンス、および暗号化された前記サブライセンスを復号するための第2の鍵を含むメインライセンスを処理するためのプログラムであって、

前記サーバから前記ネットワークを介して、前記メインライセンスを取得する取得ステップと、

前記サーバから前記ネットワークを介して、前記暗号化されたコンテンツ、並びに前記サブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを受信する受信ステップと、

前記ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択した前記サブライセンスに前記メインライセンスを適用して復号し、その結果得られる前記第1の鍵を用いて、前記暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生ステップとを含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。

【請求項13】

ネットワークを介してサーバから配信される、暗号化されたコンテンツ、前記暗号化されたコンテンツを復号するための第1の鍵と利用条件を含むサブライセンス、および暗号化された前記サブライセンスを復号するための第2の鍵を含むメインライセンスを処理するためのプログラムであって、

前記サーバから前記ネットワークを介して、前記メインライセンスを取得する取得ステップと、

前記サーバから前記ネットワークを介して、前記暗号化されたコンテンツ、並びに前記サブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを受信する受信ステップと、

前記ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択した前記サブライセンスに前記メインライセンスを適用して復号し、その結果得られる前記第1の鍵を用いて、前記暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生ステップとを含む処理をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項14】

ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、前記暗号化されたコンテンツを復号するための第1の鍵と利用条件を含むサブライセンス、および暗号化された前記サブライセンスを復号するための第2の鍵を含むメインライセンスを供給するコンテンツ供給装置において、

前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記メインライセンスを供給する第1の供給手段と、

前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記暗号化されたコンテンツ、並びに前記サブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給手段とを含むことを特徴とするコンテンツ供給装置。

【請求項15】

前記ライセンスタイプ識別情報は、試視聴用のサブライセンスと本視聴用のサブライセ

ンスを識別するためのものである

ことを特徴とする請求項14に記載のコンテンツ供給装置。

【請求項16】

前記第2の供給手段は、前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記暗号化されたコンテンツ、並びに暗号化された試視聴用のサプライセンス、暗号化された本視聴用のサプライセンス、および前記暗号化された試視聴用のサプライセンスと前記暗号化された本視聴用のサプライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを、MPEG2トランSPORTストリームとして供給する
ことを特徴とする請求項15に記載のコンテンツ供給装置。

【請求項17】

前記ライセンス情報ファイルは、ECMである

ことを特徴とする請求項16に記載のコンテンツ供給装置。

【請求項18】

前記第2の供給手段は、前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、マルチキャスト方式で前記MPEG2トランSPORTストリームを供給する
ことを特徴とする請求項16に記載のコンテンツ供給装置。

【請求項19】

ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、前記暗号化されたコンテンツを復号するための第1の鍵と利用条件を含むサプライセンス、および暗号化された前記サプライセンスを復号するための第2の鍵を含むメインライセンスを供給するコンテンツ供給方法において、

前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記メインライセンスを供給する第1の供給ステップと、

前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記暗号化されたコンテンツ、並び前記サプライセンス、および視聴タイプに対応するサプライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給ステップと

を含むことを特徴とするコンテンツ供給方法。

【請求項20】

ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、前記暗号化されたコンテンツを復号するための第1の鍵と利用条件を含むサプライセンス、および暗号化された前記サプライセンスを復号するための第2の鍵を含むメインライセンスを供給するためのプログラムであって、

前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記メインライセンスを供給する第1の供給ステップと、

前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記暗号化されたコンテンツ、並び前記サプライセンス、および視聴タイプに対応するサプライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給ステップと

を含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。

【請求項21】

ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、前記暗号化されたコンテンツを復号するための第1の鍵と利用条件を含むサプライセンス、および暗号化された前記サプライセンスを復号するための第2の鍵を含むemainライセンスを供給するためのプログラムであって、

前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記emainライセンスを供給する第1の供給ステップと、

前記ネットワークを介して前記コンテンツ処理装置に、前記暗号化されたコンテンツ、並び前記サプライセンス、および視聴タイプに対応するサプライセンスを識別するための

ライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給ステップ
と
を含む処理をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【書類名】明細書

【発明の名称】コンテンツ配信システム、コンテンツ配信方法、コンテンツ処理装置および方法、コンテンツ供給装置および方法、記録媒体、並びにプログラム

【技術分野】**【0001】**

本発明は、コンテンツ配信システム、コンテンツ配信方法、コンテンツ処理装置および方法、コンテンツ供給装置および方法、記録媒体、並びにプログラムに関し、特に、インターネットに代表されるネットワークを介してコンテンツを同報配信する場合に用いて好適なコンテンツ配信システム、コンテンツ配信方法、コンテンツ処理装置および方法、コンテンツ供給装置および方法、記録媒体、並びにプログラムに関する。

【背景技術】**【0002】**

最近、インターネットに関するインフラストラクチャが整いつつあり、インターネットを介して、各種のコンテンツ（オーディオデータ、AVデータ、プログラムデータ等）が配信されるようになってきた。

【0003】

インターネットを介するコンテンツの配信方法としては、端末側からの要求に対応して、サーバが要求されたコンテンツを、ストリーミングまたはダウンロードによって供給する、いわゆるオンデマンド方式と、コンテンツを複数の端末に対してストリーミングで同報配信する、いわゆるマルチキャスト方式が知られている。インターネットを介するコンテンツの配信にマルチキャスト方式を適用すれば、テレビジョン放送と同様に、複数のユーザに対して同時に同一のコンテンツを提供することが可能となる。

【0004】

ところで、例えば、CS (Communications Satellite) テレビジョン放送等では、冒頭の数分間を試視聴し、その結果、気に入った番組だけを、課金を条件として引き続き視聴することができる、プレビュー付ペイパービュー(pay per View)が実現されている。

【0005】

そこで、インターネットを介するコンテンツの配信においても、プレビュー付ペイパービューの実現が望まれる。

【0006】

例えば、特許文献1には、オンデマンド方式の一種であるピアツーピア(peer to peer)に接続されたサーバから端末に対するコンテンツを配信するシステムにおいて、コンテンツの試視聴を実現する発明が開示されている。

【0007】**【特許文献1】特開2003-187101号公報****【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0008】**

しかしながら、マルチキャスト方式を適用したインターネットを介するコンテンツ配信においては、著作権保護とプレビュー付ペイパービューの両立を実現する方法が確立されていないという課題があった。

【0009】

本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、マルチキャスト方式を適用したインターネットを介するコンテンツ配信において、著作権保護とプレビュー付ペイパービューの両立を実現できるようにすることを目的とする。

【課題を解決するための手段】**【0010】**

本発明のコンテンツ配信システムは、サーバが、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、メインライセンスを供給する第1の供給手段と、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、並びサプライセンス、および視聴タイプに対応

するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給手段とを含み、コンテンツ処理装置が、サーバから供給されたライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択したサブライセンスにメインライセンスを適用して復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生手段を含むことを特徴とする。

【0011】

前記ライセンスタイプ識別情報は、試視聴用のサブライセンスと本視聴用のサブライセンスを識別するためのものであるようにすることができる。

【0012】

本発明のコンテンツ配信方法は、サーバにおける、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、メインライセンスを供給する第1の供給ステップと、サーバにおける、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給ステップと、コンテンツ処理装置における、サーバから供給されたライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択したサブライセンスにメインライセンスを適用して復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生ステップと含むことを特徴とする。

【0013】

本発明のコンテンツ処理装置は、サーバからネットワークを介して、メインライセンスを取得する取得手段と、サーバからネットワークを介して、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを受信する受信手段と、ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択したサブライセンスにメインライセンスを適用して復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生手段とを含むことを特徴とする。

【0014】

前記ライセンスタイプ識別情報は、試視聴用のサブライセンスと本視聴用のサブライセンスを識別するためのものであるようにすることができる。

【0015】

前記再生手段は、ライセンスタイプ識別情報に基づき、はじめに、暗号化された試視聴用のサブライセンスを選択し、選択した試視聴用のサブライセンスにメインライセンスを適用して復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生し、次に、暗号化された本視聴用のサブライセンスを選択し、選択した本視聴用のサブライセンスにメインライセンスを適用して復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生するようにすることができる。

【0016】

前記再生手段は、ライセンスタイプ識別情報に基づき、はじめに、暗号化された試視聴用のサブライセンスを選択し、選択した試視聴用のサブライセンスサブライセンスにメインライセンスを適用して復号し、その結果得られる試視聴用のサブライセンスに含まれる利用条件に従い、試視聴用のサブライセンスに含まれる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生し、次に、暗号化された本視聴用のサブライセンスを選択し、選択した本視聴用のサブライセンスにメインライセンスを用いて復号し、その結果得られる本視聴用のサブライセンスに含まれる利用条件に従い、試視聴用のサブライセンスに含まれる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生するようにすることができる。

【0017】

前記受信手段は、サーバからネットワークを介して、暗号化されたコンテンツ、並びに暗号化された試視聴用のサブライセンス、暗号化された本視聴用のサブライセンス、および暗号化された試視聴用のサブライセンスと暗号化された本視聴用のサブライセンスを識

別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを、MPEG2-トランスポートストリームとして受信するようにすることができる。

【0018】

前記ライセンス情報ファイルは、ECMであるようにすることができる。

【0019】

前記受信手段は、サーバからネットワークを介して、マルチキャスト方式で配信されたMPEG2-トランスポートストリームを受信するようにすることができる。

【0020】

本発明のコンテンツ処理方法において、サーバからネットワークを介して、メインライセンスを取得する取得ステップと、サーバからネットワークを介して、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを受信する受信ステップと、ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択したサブライセンスにメインライセンスを適用して復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生ステップとを含むことを特徴とする。

【0021】

本発明の第1の記録媒体のプログラムは、サーバからネットワークを介して、メインライセンスを取得する取得ステップと、サーバからネットワークを介して、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを受信する受信ステップと、ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択したサブライセンスにメインライセンスを適用して復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生ステップとを含むことを特徴とする。

【0022】

本発明の第1のプログラムは、サーバからネットワークを介して、メインライセンスを取得する取得ステップと、サーバからネットワークを介して、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを受信する受信ステップと、ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択したサブライセンスにメインライセンスを適用して復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生ステップとを含む処理をコンピュータに実行させることを特徴とする。

【0023】

本発明のコンテンツ供給装置は、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、メインライセンスを供給する第1の供給手段と、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、並びサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給手段とを含むことを特徴とする。

【0024】

前記ライセンスタイプ識別情報は、試視聴用のサブライセンスと本視聴用のサブライセンスを識別するためのものであるようにすることができる。

【0025】

前記第2の供給手段は、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、並びに暗号化された試視聴用のサブライセンス、暗号化された本視聴用のサブライセンス、および暗号化された試視聴用のサブライセンスと暗号化された本視聴用のサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを、MPEG2-トランスポートストリームとして供給するようにすることができる。

【0026】

前記ライセンス情報ファイルは、ECMであるようにすることができる。

【0027】

前記第2の供給手段は、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、マルチキャスト方式でMPEG2-トランスポートストリームを供給するようにすることができる。

【0028】

本発明のコンテンツ供給方法は、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、メインライセンスを供給する第1の供給ステップと、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、並びサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給ステップとを含むことを特徴とする。

【0029】

本発明の第2の記録媒体のプログラムは、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、メインライセンスを供給する第1の供給ステップと、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、並びサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給ステップとを含むことを特徴とする。

【0030】

本発明の第2のプログラムは、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、メインライセンスを供給する第1の供給ステップと、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、並びサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルを供給する第2の供給ステップとを含む処理をコンピュータに実行させることを特徴とする。

【0031】

本発明のコンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信方法においては、サーバにおいて、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、メインライセンスが供給され、さらに、暗号化されたコンテンツ、並びに前記サブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルが供給される。また、コンテンツ処理装置において、サーバから供給されたライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスが選択され、選択されたサブライセンスにメインライセンスが適用されて復号され、その結果得られる第1の鍵が用いられて、暗号化されたコンテンツが復号されて再生される。

【0032】

本発明のコンテンツ処理装置および方法、並びにプログラムにおいては、サーバからのライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスが選択され、選択されたサブライセンスにメインライセンスが適用されて復号され、その結果得られる第1の鍵が用いられて、暗号化されたコンテンツが復号されて再生される。

【0033】

本発明のコンテンツ供給装置および方法、並びにプログラムにおいては、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、メインライセンスが供給され、さらに、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報を含むライセンス情報ファイルが供給される。

【発明の効果】

【0034】

本発明によれば、マルチキャスト方式を適用したインターネットを介するコンテンツ配信において、プレビュー付ペイパービューを実現することが可能となる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0035】

以下に本発明の実施の形態を説明するが、請求項に記載の構成要件と、発明の実施の形態における具体例との対応関係を例示すると、次のようになる。この記載は、請求項に記載されている発明をサポートする具体例が、発明の実施の形態に記載されていることを確認するためのものである。したがって、発明の実施の形態中には記載されているが、構成

要件に対応するものとして、ここには記載されていない具体例があったとしても、そのことは、その具体例が、その構成要件に対応するものではないことを意味するものではない。逆に、具体例が構成要件に対応するものとしてここに記載されていたとしても、そのことは、その具体例が、その構成要件以外の構成要件には対応しないものであることを意味するものでもない。

【0036】

さらに、この記載は、発明の実施の形態に記載されている具体例に対応する発明が、請求項に全て記載されていることを意味するものではない。換言すれば、この記載は、発明の実施の形態に記載されている具体例に対応する発明であって、この出願の請求項には記載されていない発明の存在、すなわち、将来、分割出願されたり、補正により追加されたりする発明の存在を否定するものではない。

【0037】

本発明のコンテンツ配信システム（例えば、図1のコンテンツ配信システム11）は、サーバ（例えば、図1のサーバ3）が、ネットワーク（例えば、図1のインターネット1）を介してコンテンツ処理装置（例えば、図1のデジタルテレビジョン受像機（DTV）2）に、メインライセンスを供給する第1の供給手段（例えば、図10のステップS221の処理を行うDRMサーバ74）と、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報（例えば、図9のタイプ情報）を含むライセンス情報ファイル（例えば、EMCセクション）を供給する第2の供給手段（例えば、図10のステップS243の処理を行うコンテンツサーバ75）とを含み、コンテンツ処理装置が、サーバから供給されたライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択したサブライセンスをメインライセンスを用いて復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生手段（例えば、図10のステップS251乃至S255の処理を行うコンテンツ再生部24）を含むことを特徴とする。

【0038】

本発明のコンテンツ配信方法は、サーバ（例えば、図1のサーバ3）における、ネットワーク（例えば、図1のインターネット1）を介してコンテンツ処理装置（例えば、図1のデジタルテレビジョン受像機2）に、メインライセンスを供給する第1の供給ステップ（例えば、図10のステップS221）と、サーバにおける、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報（例えば、図9のタイプ情報）を含むライセンス情報ファイル（例えば、EMCセクション）を供給する第2の供給ステップ（例えば、図10のステップS243）と、コンテンツ処理装置における、サーバから供給されたライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択したサブライセンスをメインライセンスを用いて復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生ステップ（例えば、図10のステップS251乃至S255）を含むことを特徴とする。

【0039】

本発明のコンテンツ処理装置（例えば、図1のデジタルテレビジョン受像機2）は、サーバ（例えば、図1のサーバ3）からネットワーク（例えば、図1のインターネット1）を介して、メインライセンスを取得する取得手段（例えば、図10のステップS202の処理を行うブラウザ23）と、サーバからネットワークを介して、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報（例えば、図9のタイプ情報）を含むライセンス情報ファイル（例えば、EMCセクション）を受信する受信手段（例えば、図10のステップS243の処理を行うクライアントアプリケーション28）と、ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択したサブライセンスにメインライセンスを適用して復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号し

て再生する再生手段（例えば、図10のステップS251乃至S255の処理を行うコンテンツ再生部24）とを含むことを特徴とする。

【0040】

本発明のコンテンツ処理方法は、サーバ（例えば、図1のサーバ3）からネットワーク（例えば、図1のインターネット1）を介して、メインライセンスを取得する取得ステップ（例えば、図10のステップS202）と、サーバからネットワークを介して、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報（例えば、図9のタイプ情報）を含むライセンス情報ファイル（例えば、EMCセクション）を受信する受信ステップ（例えば、図10のステップS243）と、ライセンスタイプ識別情報に基づき、供給されたサブライセンスを選択し、選択したサブライセンスにメインライセンスを適用して復号し、その結果得られる第1の鍵を用いて、暗号化されたコンテンツを復号して再生する再生ステップ（例えば、図10のステップS251乃至S255）とを含むことを特徴とする。

【0041】

本発明のコンテンツ供給装置（例えば、図1のサーバ3）は、ネットワーク（例えば、図1のインターネット1）を介してコンテンツ処理装置（例えば、図1のデジタルテレビジョン受像機2）に、メインライセンスを供給する第1の供給手段（例えば、図10のステップS221の処理を行うDRMサーバ74）と、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報（例えば、図9のタイプ情報）を含むライセンス情報ファイル（例えば、EMCセクション）を供給する第2の供給手段（例えば、図10のステップS243の処理を行うコンテンツサーバ75）とを含むことを特徴とする。

【0042】

本発明のコンテンツ供給方法は、ネットワーク（例えば、図1のインターネット1）を介してコンテンツ処理装置（例えば、図1のデジタルテレビジョン受像機2）に、メインライセンスを供給する第1の供給ステップ（例えば、図10のステップS221）と、ネットワークを介してコンテンツ処理装置に、暗号化されたコンテンツ、並びにサブライセンス、および視聴タイプに対応するサブライセンスを識別するためのライセンスタイプ識別情報（例えば、図9のタイプ情報）を含むライセンス情報ファイル（例えば、EMCセクション）を供給する第2の供給ステップ（例えば、図10のステップS243）とを含むことを特徴とする。

【0043】

なお、本発明の第1および第2の記録媒体のプログラム、並びに第1および第2のプログラムの請求項に記載の構成要件と、発明の実施の形態における具体例との対応関係は、それぞれ上述した本発明のコンテンツ処理方法またはコンテンツ供給方法のものと同様であるので、その記載は省略する。

【0044】

以下、本発明の実施の形態について説明する。図1は、本発明を適用したコンテンツ配信システムの構成例を示している。このコンテンツ配信システム11は、代表的なネットワークとしてのインターネット1を介して相互に接続されたデジタルテレビジョン受像機(DTV)2-1, 2-2とサーバ3とによって構成される。

【0045】

インターネット1には、また、放送局4も接続されている。デジタルテレビジョン受像機2-1, 2-2は、例えば、家庭、職場等に配置されており、放送局4から放送されるテレビジョン放送の電波を受信して、テレビジョン番組を視聴する機能を有している他、サーバ3からのインターネット1を介するダウンロード配信やストリーミング配信（マルチキャスト方式およびオンデマンド方式を含む）によってコンテンツを取得し、再生する機能も有している。

【0046】

サーバ3は、放送局4が放送した番組を受信し、そのAVデータをコンテンツとして保持する。あるいはまた、サーバ3は、放送局4からインターネット1を介して、番組を構成するAVデータの提供を受け、これをコンテンツとして保持する。もちろん、サーバ3は、この他、独自に作成したり、取得したりしたコンテンツを保持することもできる。

【0047】

なお、図1には、2台のデジタルテレビジョン受像機2-1, 2-2と、1台のサーバ3のみが図示されているが、デジタルテレビジョン受像機2-1, 2-2は、一般的には、より多くの台数が存在する。サーバ3は、複数台であってもよい。

【0048】

なお、以下においては、デジタルテレビジョン受像機2-1, 2-2を個々に区別する必要がない場合、単に、DTV2と記述する。

【0049】

図2は、DTV2とサーバ3の構成例を示している。

【0050】

DTV2は、入力部21、表示部22、ブラウザ23、コンテンツ再生部24、DRMエージェント25、DRMクライアント26、コンテンツ記憶部27、クライアントアプリケーション28、クライアントメタデータデータベース（以下、クライアントメタデータDBと記述する）29、ダウンロード（DL）エージェント30、およびパッケージ情報処理エージェント31から構成される。

【0051】

入力部21は、ユーザからの各種の指令を入力する。表示部22は、コンテンツを再生した結果得られる画像を表示したり、音声を出力したりする。また、表示部22は、ブラウザ23に対する操作画面やその他の各種の情報をユーザに表示する。

【0052】

ブラウザ23は、サーバ3を構成するショップサーバ71から供給される、コンテンツの取得に関する画面を表示させるための、HTML(Hyper Text Markup Language)文書（CSS(Cascading Style Sheets)を含む）からなるナビゲーション情報を解析し表示部22に表示させるとともに、HTMLに含まれるスクリプトの実行を行う。また、ブラウザ23は、同様に、BML(Broadcast Markup Language)文書（CSSを含む）からなるナビゲーション情報を解析し表示部22に表示させるとともに、BMLに含まれるスクリプトの実行を行う。この他、コンテンツガード社のXrML(eXtensible rights Markup Language)に対応することもできる。また、ブラウザ23は、サーバ3を構成する決済サーバ72と通信して、コンテンツ購入に関わる決済を行う。

【0053】

コンテンツ再生部24は、ブラウザ23またはクライアントアプリケーション28からの再生指示に対応して、サーバ3を構成するコンテンツサーバ75からストリーミング配信されるコンテンツや、コンテンツサーバ75からダウンロードされコンテンツ記憶部27に保持されているコンテンツを再生する。

【0054】

DRMエージェント25は、ブラウザ23やクライアントアプリケーション28からの依頼に対応し、DRMクライアント26にDRM処理を実行させる。このDRM処理とは、コンテンツを再生するために必要なライセンスの取得処理、ユーザがライセンスを有する適正なユーザであるのか否かの認証処理、暗号化されているデータを復号するのに必要な鍵の取得・付与処理、その他のライセンスの管理に必要な処理が含まれる。また、DRMエージェント25は、コンテンツサーバ75から、コンテンツを構成するサブライセンス（詳細は後述する）を取得し、DRMクライアント26に転送する。DRMクライアント26は、DRMエージェントからの指示に従い、サーバ3を構成するDRMサーバ74と通信して、DRM処理を行う。

【0055】

コンテンツ記憶部27は、例えば、ハードディスク等で構成され、サーバ3のコンテン

ツサーバ75から、通常のダウンロードまたはプッシュ式ダウンロードによって取得されるコンテンツを記憶する。

【0056】

クライアントアプリケーション28は、各種のソフトウェアにより構成され、ユーザインターフェースとして各種の機能のメニューをユーザの提供する他、DTV2の各種の動作を制御する。例えば、ブラウザ23の起動、コンテンツ再生部24に対する再生指示、サーバ3を構成するメタデータデータベース（以下、メタデータDBと記述する）73からのメタデータの取得、クライアントメタデータDB29に保持されたメタデータの検索等を行う。クライアントメタデータDB29は、サーバ3のメタデータDB73から供給されるメタデータを保持する。

【0057】

ダウンロードエージェント（DLエージェントとも記述する）30は、ブラウザ23またはクライアントアプリケーション28からの指示に従い、サーバ3を構成するコンテンツサーバ75から、コンテンツをダウンロードして、コンテンツ記憶部27に記憶させる。また、ダウンロードエージェント30は、メタデータDB73から、ダウンロードしているコンテンツに関するメタデータを取得して、クライアントメタデータDB29に保持させる。

【0058】

パッケージ情報処理エージェント31は、ブラウザ23のヘルパアプリケーションであり、コンテンツの販売単位であるパッケージに関するライセンスの取得を、DRMエージェント25に依頼する。

【0059】

サーバ3は、ショップサーバ71、決済サーバ72、メタデータDB73、DRMサーバ74、コンテンツサーバ75、およびドメインサーバ76から構成される。

【0060】

ショップサーバ71は、ブラウザ23からインターネット1を介してアクセスを受けたとき、HTML文書またはBML文書からなるナビゲーション情報をブラウザ23に提供する。

【0061】

決済サーバ72は、ブラウザ23と通信し、決済処理を行う。また、決済サーバ72は、ショップサーバ71からの決済処理依頼に基づいて、決済処理を行い、その決済結果をショップサーバ71に出力する。

【0062】

メタデータDB73は、クライアントアプリケーション28からのメタデータ取得依頼に基づいて、予め供給されて記憶しているメタデータを読み出し、DTV2のクライアントメタデータDB29に供給する。また、メタデータDB73は、ショップサーバ71からのメタデータ検索依頼に基づいて、検索して得られたメタデータをショップサーバ71に供給する。

【0063】

なお、メタデータには、パッケージメタ、ライセンスマタ、サブライセンスマタ、インスタンスマタ、およびコンテンツメタ等が存在する。パッケージメタは、購入の単位となるパッケージの属性情報であり、主にパッケージ購入時のナビゲーション情報を用いられる。ライセンスマタは、主にライセンス単位での利用条件の表示、ライセンスの取得に用いられる。サブライセンスマタは、主に、サブライセンスに対応する利用条件の表示と、サブライセンスの特定に用いられる。インスタンスマタは、コンテンツの取得と再生への誘導に用いられる。コンテンツメタは、コンテンツの属性情報であり、コンテンツの検索等に用いられる。

【0064】

DRMサーバ74は、ショップサーバ71からのライセンス発行許可要請に基づいて、DTV2のDRMクライアント26と通信し、DRM処理を実行する。DRMサーバ74は、コンテンツサーバ75にコンテンツを暗号化するためのコンテンツキーKcを供給する。また、

DRMサーバ74は、正しいDRM処理が実行できたとき、DTV2のDRMクライアント26に、対応するライセンス（詳細は後述する）を供給する。

【0065】

コンテンツサーバ75は、DTV2に供給すべきコンテンツを保持しており、DRMサーバ74より供給されたコンテンツキーKcを用いて、DTV2から要求されたコンテンツを暗号化し、コンテンツ再生部24にストリーミング配信するか、または、ダウンロードのファイルとしてコンテンツ記憶部27に配信し、記憶させる。

【0066】

ドメインサーバ76は、ショップサーバ71からの登録依頼に対応し、DTV2のユーザーに対してドメインIDを発行して管理する。また、ショップサーバ71からのドメインIDの検索依頼に基づいて、検索結果をショップサーバ71に供給する。

【0067】

なお、図2の例では、サーバ3を複数のサーバで構成するようにしたが、1つのサーバで構成することも、もちろん可能である。

【0068】

次に、サーバ3からインターネット1を介してDTV2に供給されるコンテンツのライセンスについて説明する。コンテンツ配信システム11では、配信されるコンテンツの契約形態（ペイパーコンテンツ契約とサブスクリプション契約）によって、1階層ライセンス方式または2階層ライセンス方式のいずれかが適用される。

【0069】

ペイパーコンテンツ契約（以下、PPC契約と記述する）とは、指定されたコンテンツ（あるいはコンテンツ群）を1パッケージとして売買の単位とするものである。サブスクリプション契約とは、例えば、テレビジョン放送の有料チャンネルを月単位で契約するように、特定されない複数のコンテンツの利用権を1パッケージとして売買の単位とするものである。

【0070】

PPC契約に基づいて配信されるコンテンツには、1階層ライセンス方式が適用される。一方、サブスクリプション契約に基づいて配信されるコンテンツには、2階層ライセンス方式が適用される。

【0071】

図3は、1階層ライセンス方式が適用された場合における、コンテンツとライセンスの配信の概要を示している。

【0072】

サーバ3において、コンテンツは、その主要素であるコンテンツリソースファイル（図5に示す）が、コンテンツサーバ75によりコンテンツキーKcを用いて暗号化され、DTV2に供給される。コンテンツキーKcは、対応するコンテンツの利用条件とともに、対応するコンテンツのライセンスとして、暗号化されたコンテンツとは別途、DRMサーバ74からDTV2に供給される。

【0073】

DTV2では、ライセンスに含まれるコンテンツキーKcを用いて、暗号化されているコンテンツが復号され、再生が行われる。なお、1階層ライセンス方式が適用された場合における、コンテンツとライセンスの配信の詳細については、図6を参照して後述する。

【0074】

図4は、2階層ライセンス方式が適用された場合における、コンテンツとライセンスの配信の概要を示している。

【0075】

コンテンツは、その主要素であるコンテンツリソースファイルが、コンテンツサーバ75によりコンテンツキーKcを用いて暗号化され、ワークキーKwによって暗号化されたサブライセンスとともに、DTV2に供給される。ここで、サブライセンスは、対応するコンテンツの利用に関する条件を示す第2の利用条件と、対応するコンテンツの暗号を復

号するためのコンテンツキーKcとから構成される。

【0076】

暗号化されたサブライセンスを復号するためのワークキーKwは、サブスクリプション契約に1対1に対応付けられているメインライセンスに含まれている。メインライセンスは、コンテンツとは別途、DRMサーバ74からDTV2に供給される。メインライセンスには、ワークキーKwの他、サブスクリプション契約に対応するコンテンツの利用に関する条件を示す第1の利用条件が含まれている。

【0077】

DTV2では、メインライセンスに含まれるワークキーKwを用いて、暗号化されているサブライセンスが復号され、その結果得られるコンテンツキーKcを用いて、暗号化されているコンテンツが復号され、再生が行われる。なお、2階層ライセンス方式が適用された場合における、コンテンツとライセンスの配信の詳細については、図8を参照して後述する。

【0078】

次に、図5は、1つのコンテンツを構成する要素を示している。1つのコンテンツは、1つ以上のファイルからなるコンテンツリソースファイル101、コンテンツ起動文書102、ダウンロード制御ファイル103、DRM情報参照ファイル104、サブライセンスファイル107から構成される。なお、当該コンテンツがPPC契約だけで配信される場合、コンテンツの構成要素としてサブライセンスファイル107を含まなくともかまわない。

【0079】

コンテンツリソースファイル101は、当該コンテンツの主要をなすものであり、MPEG2方式等のフォーマットに従うAVデータであって、コンテンツキーKcによって暗号化されている。コンテンツ起動文書102は、コンテンツリソースファイル101の再生に遷移するためのものであり、当該コンテンツの起動時に最初に実行される。コンテンツ起動文書102には、対応するDRM情報参照ファイル104が指定されている。

【0080】

ダウンロード制御ファイル103は、当該コンテンツがダウンロードされるときに参照されるものであり、ダウンロードを行うための以下の情報によって構成される。contents IDは、当該コンテンツの識別情報である。license Query URLは、ライセンスに関する問い合わせ先を示す情報である。license URLは、メインライセンスの取得先を示す情報である。Resourcesは、当該コンテンツに含まれるコンテンツリソースファイルを特定するためのリソース名とリソースIDからなる情報である。

【0081】

DRM情報参照ファイル104には、contents ID、license Query URL、license URL、リソース名(resource)、リソースID(resource ID)の他、当該コンテンツに関するDRM処理(暗号されたコンテンツリソースファイルの復号等)に必要なライセンスのリストが記載されている。各ライセンスの情報は、ライセンスの識別情報であるlicense ID、サブライセンスの存在の有無を示すタイプ情報、サブライセンスが存在する場合にそのサブライセンス名を示すsublicenseから構成される。

【0082】

サブライセンスの存在の有無を示すタイプ情報にtype1が記載されている場合、当該ライセンスは、1階層ライセンス方式が適用されていて、サブライセンスが存在せず、当該ライセンスのみで対応するコンテンツリソースファイルを復号できることを示している。

【0083】

サブライセンスの存在の有無を示すタイプ情報にtype2が記載されている場合、当該ライセンスは、2階層ライセンス方式のメインライセンスであってサブライセンスが存在することを示している。

【0084】

サブライセンスは、ライセンスの識別情報であるlicense ID、当該コンテンツの識別情

報であるcontents ID、当該コンテンツの利用に関する第2の利用条件、およびコンテンツ暗号されたコンテンツリソースファイルの復号に用いるコンテンツキーK_cから構成され、ワークキーK_wによって暗号化されている。このワークキーK_wは、コンテンツリソースファイル101乃至サブライセンスファイル107からなるコンテンツとは別に、DRMサーバ74に管理されているメインライセンスに含まれている。

【0085】

なお、コンテンツがMPEG2-TSとしてマルチキャスト方式で配信される場合、サブライセンス107は、MPEG2-TSのECMセクションに格納されている（詳細は後述する）。

【0086】

次に、PPC契約で販売されるコンテンツと、それに対応する1階層ライセンス方式のライセンスの配信に関する一連の処理について、図6のタイミングチャートを参照して説明する。なお、DTV2のユーザは、サーバ3に対して基本的なユーザ登録を済ませており、ユーザIDおよびドメインIDの発行を受け、決済情報（クレジットカード番号、銀行口座番号等）を既に通知しているものとする。

【0087】

ステップS1において、DTV2のブラウザ23は、ユーザの操作に対応して、PPC契約のコンテンツを購入するためにショップサーバ71にアクセスし、ショップサーバ71から供給されるナビゲーション情報に基づき、ユーザが購入可能なコンテンツの一覧を、呈示部22に呈示させる。この呈示に対して、ユーザが購入するコンテンツ（以下、購入の単位としてパッケージとも記述する）を選択した場合、ブラウザ23は、当該コンテンツをPPC契約するための登録情報（ユーザを特定する情報（ユーザID）、購入するパッケージを特定する情報（パッケージID）等）を、ショップサーバ71に送信する。これに対応してショップサーバ71は、ステップS11において、決済サーバ72に接続し、ブラウザ23から送信された、ユーザIDおよびパッケージIDを通知して、当該契約に関する決済を依頼する。

【0088】

決済サーバ72から決済が正常に行われた旨が通知された後、ショップサーバ71は、ステップS12において、ドメインサーバ76にユーザIDを通知して、ドメインサーバ76がユーザIDに対応して予め発行したドメインID（当該ユーザに対して与えられるライセンスの移動が許可されるDTV2等の端末装置の集合に対して付与される識別情報）を取得する。

【0089】

ステップS13において、ショップサーバ71は、メタデータDB73に接続し、ブラウザ23から通知されたパッケージIDを通知して、パッケージIDによって特定されるパッケージに対応するライセンスIDリスト（当該パッケージのコンテンツを利用するためには必要なライセンスのライセンスIDが記載されたリスト）を取得する。いまの場合、ライセンスIDリストには、1階層ライセンス方式のライセンスのライセンスIDが記載されている。

【0090】

ステップS14において、ショップサーバ71は、取得したドメインIDおよびライセンスIDリストを、DRMサーバ74に転送する。これに対応して、DRMサーバ74は、転送されたドメインIDとライセンスIDリストを対応付けて記憶する。ステップS15において、ショップサーバ71は、DTV2のブラウザ23がパッケージ情報ファイルを取得するために必要な情報を含む、当該PPC契約の登録が完了した旨を示す情報を、ブラウザ23に通知する。この通知に対応し、ブラウザ23は、PPC契約の登録と決済の完了をユーザに呈示させるとともに、ショップサーバ71に接続してパッケージ情報ファイルを取得する。

【0091】

図7は、ブラウザ23がショップサーバ71から取得したパッケージ情報ファイルの構

成を示している。パッケージ情報ファイル111には、PPC契約されたパッケージに対応するライセンスIDリスト、ライセンスの取得先であるDRMサーバ74のURL、およびメタデータの取得先であるメタデータDB73のURLが含まれている。

【0092】

図6に戻る。パッケージ情報ファイルを取得したブラウザ23は、ステップS2において、ヘルパーアプリケーションとしてパッケージ情報処理エージェント31を起動する。パッケージ情報処理エージェント31は、取得されたパッケージ情報ファイルに含まれるライセンスIDリストおよびDRMサーバ74のURL、並びにユーザに対応するドメインIDを、DRMエージェント25を介してDRMクライアント26に通知し、ライセンスの取得を依頼する。この依頼に対応して、DRMクライアント26は、DRMサーバ74に接続して、ライセンスIDリストおよびドメインIDを送信し、ライセンスIDリストに記載されたライセンスの取得を要求する。

【0093】

この要求に対応し、ステップS21において、DRMサーバ74は、送信されたドメインIDが送信元のDTV2に対して正規に発行されたものであって、かつ、送信されたライセンスIDリストに記載されたライセンスが、送信されたドメインIDに対して供給が許可されているものであるか否かを判断し、両条件が満たされた場合、DRMクライアント26からの要求が正当なものであると判断して、ライセンスIDリストに記載されているライセンスを、DRMクライアント26に供給する。DRMクライアント26は、供給されたライセンスをセキュアに保管し、ライセンスの取得完了をDRMエージェント25に通知する。この段階で、PPC契約によって購入したコンテンツのライセンスの取得は完了したことになる。

【0094】

そしてこの後、ユーザの操作に応じて、PPC契約によって購入したコンテンツを再生する場合、ステップS3において、ブラウザ23は、PPC契約により購入済のコンテンツを再生するためにショップサーバ71にアクセスし、ショップサーバ71から供給されるナビゲーション情報に基づき、ユーザがPPC契約により購入済であって再生可能なコンテンツの一覧を、表示部22に表示させる。この表示に対して、ユーザが再生するコンテンツを選択した場合、ステップS4において、ブラウザ23は、コンテンツサーバ75にアクセスし、選択されたコンテンツを構成するコンテンツ起動文書102を取得し、プラグインにコンテンツ起動文書102を実行させる。また、ブラウザ23は、コンテンツ起動文書102とともに、コンテンツの再生終了時にアクセスするように指定されたショップサーバ71上のURLも保存する。

【0095】

ステップS5において、ブラウザ23のプラグインは、コンテンツサーバ75から、コンテンツ起動文書102によって指定されるDRM情報参照ファイル104を取得する。

【0096】

ステップS6において、ブラウザ23は、ヘルパーアプリケーションとしてのDRMエージェント25を起動して、取得したDRM情報参照ファイル104を解析させる。DRMエージェント25は、DRM情報参照ファイル104に記載されているコンテンツIDをDRMクライアント26に通知して、当該コンテンツIDに対応するライセンスを保持しているか否かを確認させる。対応するライセンスが1つだけ保持されている場合、そのライセンスが使用されることとなる。対応するライセンスが複数保持されている場合には、それらがユーザに表示され、どのライセンスを使用するかがユーザによって選択される。

【0097】

使用されるライセンスが決定された後、DRMクライアント26は、DRM情報参照ファイル104から、当該ライセンスに関する情報を読み出し、そこからタイプ情報を読み出す。タイプ情報がtype1である場合、保持が確認されたライセンスは1階層ライセンス方式のライセンスであるので、以降において、保持が確認されたライセンスだけでコンテンツリソースファイル101の暗号が復号される。タイプ情報がtype2である場合、保持が確認

されたライセンスは、2階層ライセンス方式のメインライセンスであるので、以降において、対応するサブライセンスが取得されて、コンテンツリソースファイル101の暗号が復号される。いまの場合、タイプ情報はtype1であるので、サブライセンスは取得されない。DRMクライアント26は、対応するライセンスのライセンスIDをDRMエージェント25に返信する。DRMエージェント25は、返信されたライセンスIDを記憶して、自己の処理を終了する。

【0098】

DRMエージェント25の処理を待つことなく、ステップS7において、ブラウザ23は、DRM情報参照ファイル104にストリーム形式のコンテンツリソースファイル101が記載されていることに対応して、コンテンツ再生部24を起動する。

【0099】

ステップS31において、コンテンツ再生部24は、再生すべきストリーム形式のコンテンツリソースファイルのコンテンツ名の拡張子に基づき、当該コンテンツリソースが暗号化されていることを認識し、DRMエージェント25にライセンスが取得済であることを確認して、確認できた場合、対応するライセンスIDとドメインIDを取得する。なお、この段階で、DRMエージェント25によりライセンスの取得済が未確認である場合、確認できるまで待機する。

【0100】

ステップS32において、コンテンツ再生部24は、DRMクライアント26に対し、ライセンスIDとドメインIDを通知して、ライセンスの供給を要求する。DRMクライアント26は、この時点においてライセンスに含まれた利用条件が満たされなければ、ライセンスに含まれるコンテンツキーKcと利用条件をセキュアにコンテンツ再生部24に転送する。コンテンツ再生部24は、内蔵する復号部（不図示）にコンテンツキーKcをセットし、利用条件の適用を開始する。

【0101】

ステップS33において、コンテンツ再生部24は、コンテンツサーバ75からストリーム情報ファイルを取得した後、ストリーミング配信によって順次取得するコンテンツリソースの暗号を復号してデコードし、呈示部22に映像および音声の呈示を開始させる。

【0102】

そして、コンテンツの再生が最後まで終了したり、ユーザの指示に対応して再生を途中で終了したり、再生途中で利用条件が満たされなくなったりした場合、ステップS34において、コンテンツ再生部24は、その際の利用状況とともに再生終了を、DRMクライアント26に通知する。

【0103】

この後、コンテンツ再生部24は、処理を終了する。ブラウザ23は、ステップS4の処理で保持した、コンテンツの再生終了時にアクセスするように指定されたショップサーバ71上のURLにアクセスし、そこから得られる情報を呈示部22に呈示させる。これにより、サーバ3は、PPC契約のコンテンツを試聴したユーザに、意図する情報（例えば、試聴したコンテンツの続編の宣伝等）を呈示することができる。

【0104】

以上で、PPC契約で販売されたコンテンツと、それに対応する1階層ライセンス方式のライセンスの配信に関する一連の処理の説明を終了する。

【0105】

次に、サブスクリプション契約で販売されるコンテンツと、それに対応する2階層ライセンス方式のライセンスの配信に関する一連の処理について、図8のタイミングチャートを参照して説明する。なお、DTV2のユーザは、サーバ3に対して基本的なユーザ登録を済ませており、ユーザIDおよびドメインIDの発行を受け、決済情報（クレジットカード番号、銀行口座番号等）を既に通知しているものとする。

【0106】

ステップS101において、DTV2のブラウザ23は、ユーザの操作に対応して、例

えば、朝の連続ドラマのコンテンツを配信するチャンネル等のサブスクリプション契約を行うためにショップサーバ71にアクセスし、ショップサーバ71から供給されるナビゲーション情報に基づき、ユーザがサブスクリプション契約可能なチャンネル等の一覧を、表示部22に表示させる。この表示に対して、ユーザがサブスクリプション契約するチャンネル（以下、購入の単位としてパッケージとも記述する）を選択した場合、ブラウザ23は、当該チャンネルをサブスクリプション契約するための登録情報（ユーザを特定する情報（ユーザID）、サブスクリプション契約するパッケージを特定する情報（パッケージID）等）を、ショップサーバ71に送信する。これに対応してショップサーバ71は、ステップS111において、決済サーバ72に接続し、ブラウザ23から送信された、ユーザIDおよびパッケージIDを通知して、当該契約に関する決済を依頼する。

【0107】

決済サーバ72から決済が正常に行われた旨が通知された後、ショップサーバ71は、ステップS112において、ドメインサーバ76にユーザIDを通知して、ドメインサーバ76がユーザIDに対応して予め発行したドメインIDを取得する。

【0108】

ステップS113において、ショップサーバ71は、メタデータDB73に接続し、ブラウザ23から通知されたパッケージIDを通知して、パッケージIDによって特定されるパッケージに対応するライセンスIDリストを取得する。いまの場合、ライセンスIDリストには、2階層ライセンス方式のメインライセンスのライセンスIDが記載されている。

【0109】

ステップS114において、ショップサーバ71は、取得したドメインIDおよびライセンスIDリストを、DRMサーバ74に転送する。これに対応して、DRMサーバ74は、転送されたドメインIDとライセンスIDリストを対応付けて記憶する。ステップS115において、ショップサーバ71は、DTV2のブラウザ23がパッケージ情報ファイルを取得するために必要な情報を含む、当該サブスクリプション契約の登録が完了した旨を示す情報を、ブラウザ23に通知する。この通知に対応し、ブラウザ23は、サブスクリプション契約の登録と決済の完了をユーザに表示させるとともに、ショップサーバ71に接続してパッケージ情報ファイルを取得する。

【0110】

ブラウザ23がショップサーバ71から取得するパッケージ情報ファイルは、図7に示されたものと同様に構成されていて、サブスクリプション契約されたパッケージに対応するライセンスIDリスト、ライセンスの取得先であるDRMサーバ74のURL、およびメタデータの取得先であるメタデータDB73のURLが含まれている。

【0111】

パッケージ情報ファイルを取得したブラウザ23は、ステップS102において、ヘルパーアプリケーションとしてパッケージ情報処理エージェント31を起動する。パッケージ情報処理エージェント31は、取得されたパッケージ情報ファイルに含まれるライセンスIDリストおよびDRMサーバ74のURL、並びにユーザに対応するドメインIDを、DRMエージェント25を介してDRMクライアント26に通知し、メインライセンスの取得を依頼する。この依頼に対応して、DRMクライアント26は、DRMサーバ74に接続して、ライセンスIDリストおよびドメインIDを送信し、ライセンスIDリストに記載されたメインライセンスの取得を要求する。

【0112】

この要求に対応し、ステップS121において、DRMサーバ74は、送信されたドメインIDが送信元のDTV2に対して正規に発行されたものであって、かつ、送信されたライセンスIDリストに記載されたメインライセンスが、送信されたドメインIDに対して供給が許可されているものであるか否かを判断し、両条件が満たされた場合、DRMクライアント26からの要求が正当なものであると判断して、ライセンスIDリストに記載されているメインライセンスを、DRMクライアント26に供給する。DRMクライアント26は、

供給されたメインライセンスをセキュアに保管し、メインライセンスの取得完了をDRMエージェント25に通知する。この段階で、サブスクリプション契約によって購入したコンテンツを利用するため必要なメインライセンスとサプライセンスのうち、メインライセンスの取得が完了したことになる。

【0113】

そしてこの後、ユーザの操作に対応して、サブスクリプション契約によって購入したコンテンツを再生する場合、ステップS103において、ブラウザ23は、サブスクリプション契約により購入済のチャンネルで配信されるコンテンツを再生するためにショップサーバ71にアクセスし、ショップサーバ71から供給されるナビゲーション情報に基づき、サブスクリプション契約により購入済のチャンネルで再生可能なコンテンツの一覧を、表示部22に表示させる。この表示に対して、ユーザが再生するコンテンツを選択した場合、ステップS104において、ブラウザ23は、コンテンツサーバ75にアクセスし、選択されたコンテンツを構成するコンテンツ起動文書102を取得し、プラグインにコンテンツ起動文書102を実行させる。また、ブラウザ23は、コンテンツ起動文書102とともに、コンテンツの再生終了時にアクセスするように指定されたショップサーバ71上のURLも保存する。

【0114】

ステップS105において、ブラウザ23のプラグインは、コンテンツサーバ75から、コンテンツ起動文書102によって指定されるDRM情報参照ファイル104を取得する。

【0115】

ステップS106において、ブラウザ23は、ヘルパーアプリケーションとしてのDRMエージェント25を起動して、取得したDRM情報参照ファイル104を解析させる。DRMエージェント25は、DRM情報参照ファイル104に記載されている、ライセンスIDを1つずつDRMクライアント26に通知して、当該コンテンツIDに対応するライセンスを保持しているか否かを確認させる。対応するライセンスが1つだけ保持されている場合、そのライセンスが使用されることとなる。対応するライセンスが複数保持されている場合には、それらがユーザに表示され、どのライセンスを使用するかがユーザによって選択される。

【0116】

使用されるライセンスが決定された後、DRMクライアント26は、DRM情報参照ファイル104から、当該ライセンスに関する情報を読み出し、そこからタイプ情報を読み出す。

【0117】

いまの場合、タイプ情報がtype2であるとして説明を継続する。ステップS131において、DRMエージェント25は、DRM情報参照ファイル104を参照して、対応するサプライセンスのサプライセンス名を知り、コンテンツサーバ75にアクセスして、当該サプライセンス名のサプライセンスを取得する。ステップS132において、DRMエージェント25は、取得したサプライセンスを、DRMクライアント26に注入する。DRMクライアント26は、注入されたサプライセンスを、すでに取得済みのメインライセンスに対応づけて記憶する。DRMエージェント25は、ライセンスID、およびコンテンツIDを保持して、自己の処理を終了する。

【0118】

DRMエージェント25によるDRMクライアント26からのライセンスIDの保持を待つことなく、ステップS107において、ブラウザ23は、DRM情報参照ファイル104にストリーム形式のコンテンツリソースファイル101が記載されていることに対応して、コンテンツ再生部24を起動する。

【0119】

ステップS141において、コンテンツ再生部24は、再生すべきストリーム形式のコンテンツリソースファイルのコンテンツ名の拡張子に基づき、当該コンテンツリソースが暗号化されていることを認識し、DRMエージェント25にライセンスが取得済であること

を確認して、確認できた場合、対応するライセンスIDとドメインIDを取得する。なお、この段階で、DRMエージェント25によりライセンスの取得済が未確認である場合、確認できるまで待機する。

【0120】

ステップS142において、コンテンツ再生部24は、DRMクライアント26に対し、ライセンスIDとドメインIDを通知して、コンテンツキーKcの供給を要求する。DRMクライアント26は、メインライセンスに含まれるワークキーKwを用いてサブライセンスの暗号を解き、得られた利用条件がこの時点において満たされていれば、ライセンスに含まれるコンテンツキーKcと利用条件をセキュアにコンテンツ再生部24に転送する。コンテンツ再生部24は、内蔵する復号部にコンテンツキーKcをセットし、利用条件の適用を開始する。

【0121】

ステップS143において、コンテンツ再生部24は、コンテンツサーバ75からストリーム情報ファイルを取得した後、ストリーミング配信によって順次取得するコンテンツリソースの暗号を復号してデコードし、呈示部22に映像および音声の呈示を開始させる。

【0122】

そして、コンテンツの再生が最後まで終了したり、ユーザの指示に対応して再生を途中で終了したり、再生途中で利用条件が満たされなくなったりした場合、ステップS144において、コンテンツ再生部24は、その際の利用状況とともに再生終了を、DRMクライアント26に通知する。

【0123】

この後、コンテンツ再生部24は、処理を終了する。ブラウザ23は、ステップS104の処理で保持した、コンテンツの再生終了時にアクセスするように指定されたショッピングサーバ71上のURLにアクセスし、そこから得られる情報を呈示部22に呈示させる。これにより、サーバ3は、サブスクリプション契約のチャンネルで配信されたコンテンツを試聴したユーザに、意図する情報（例えば、同一のチャンネルで配信されるコンテンツの宣伝等）を呈示することができる。

【0124】

以上で、サブスクリプション契約で販売されたコンテンツと、それに対応する2階層ライセンス方式のライセンスの配信に関する一連の処理の説明を終了する。

【0125】

以上説明したように、サーバ3では、コンテンツのライセンスに1階層ライセンス方式または2階層ライセンス方式のいずれが採用されているのかを示すタイプ情報を含むDRM情報参照ファイル104を送信するようにし、DTV2では、タイプ情報に応じて異なる処理を行うようにしたので、PPC契約とサブスクリプション契約が混在するコンテンツ配信サービスを効率的に実現することができる。

【0126】

なお、コンテンツのライセンスに1階層ライセンス方式または2階層ライセンス方式のいずれが採用されているのかを示すタイプ情報を、各パッケージに対応するメタデータ（例えば、ライセンスマタ）に記載して送信するようにし、DTV2では、コンテンツの再生が指示されたときに、メタデータの記載された当該タイプ情報を参照して、タイプ情報に応じて異なる処理を行うようにしてもよい。

【0127】

次に、サーバ3から複数のDTV2に対してマルチキャスト方式でストリーミング配信するコンテンツに、プレビュー付ペイパービュー（以下、プレビュー付PPVと記述する）を実現する方法の概要について説明する。

【0128】

サーバ3から同報配信されるコンテンツは、MPEG2-TS（トランスポートストリーム）のフォーマットに従ったものであり、このMPEG2-TSを再生するためのライセンスに

2階層ライセンス方式を適用して、コンテンツの全再生時間のうちの所定の時間（例えば、冒頭の数分間）だけ利用できるプレビュー（購入決定前の試視聴）用のサブライセンスと、コンテンツの全再生時間に亘って利用できる本視聴（購入決定後の視聴）用のサブライセンスとを、MPEG 2-TSに含めて配信するようにする。DTV2では、プレビュー付PPVのチャンネル等に対応するメインライセンスを予め取得し、マルチキャスト方式で配信が行われた際、はじめにプレビュー用のサブライセンスを用い、購入決定後には本視聴用のサブライセンスを用いるようにする。

【0129】

プレビュー用のサブライセンスと、本視聴用のサブライセンスは、MPEG 2-TSを構成するECM(Entitlement Control Message)セクションに格納されて配信される。

【0130】

図9は、プレビュー用のサブライセンスと、本視聴用のサブライセンスが格納されたECMセクションの構造例を示している。ECMセクションは、当該パケットがECMセクションであることを示す識別情報が格納されたECMセクションヘッダ、ECM本体、およびエラー訂正用のセクションCRC(Cyclic Redundancy Check)から構成される。ECM本体は、各種の情報が格納されたヘッダと、サブライセンスが格納されたライセンス部から構成される。

【0131】

ECM本体は、プロトコルを識別するためのプロトコル番号情報、事業体を識別するための事業体識別情報、メインライセンスに含まれるワークキーKwを識別するためのワークキー識別情報、当該ECMセクションに対応するコンテンツを識別するためのコンテンツID、現在視聴中のコンテンツを復号することができるのはoddのコンテンツキーであるか、またはevenのコンテンツキーであるかを示す視聴コンテンツのodd/even情報、現在配信中のコンテンツに設定されているサブライセンスの数(=n)を示すサブライセンス数(現在の番組)情報、現在配信中のコンテンツに対応するn個のサブライセンスに関する情報、次に配信されるコンテンツに設定されているサブライセンスの数(=n)を示すサブライセンス数(次の番組)情報、および、次に配信されるコンテンツに対応するn個のサブライセンスに関する情報から構成される。

【0132】

各サブライセンスに関する情報は、サブライセンスの識別情報であるライセンスID、当該サブライセンスがプレビュー用または本視聴用であるかの区別を示すタイプ情報、および当該サブライセンスのライセンス部における格納位置(ECM本体の先頭からバイト数)を示すロケーションから構成される。

【0133】

このサブライセンスに関する情報において、同一のコンテンツに対応するプレビュー用のサブライセンスと本視聴用のサブライセンスは、同一のライセンスIDが付与されていて、タイプ情報とロケーションがそれぞれ異なるものとされている。

【0134】

なお、ECMセクションにプレビュー用と本視聴用のサブライセンスが格納されている場合、MPEG 2-TSのPMT(Program Map Table)の限定受信方式記述子(CA記述子)にECMセッションのパケットIDが記載されることとなる。

【0135】

プレビュー用のサブライセンスには、プレビュー用利用条件(プレビューの時間長等)とコンテンツキーKcが含まれている。本視聴用のサブライセンスには、本視聴用利用条件とコンテンツキーKcが含まれている。

【0136】

なお、プレビュー用利用条件を変更することにより、コンテンツの全再生時間におけるプレビューの時間的位置および時間長を、冒頭の数分間とするだけでなく、任意に設定することができる。また、ECMセクションに異なるプレビュー用のサブライセンスを格納することができるので、サーバ3側は、コンテンツの全再生時間に、複数のプレビューの機会を設けることができる。さらに、コンテンツの全再生時間のうち、プレビューを認める

期間にだけ、プレビュー用のサプライセンスを配信するようにしてもよい。

【0137】

次に、サーバ3から複数のDTV2に対して、プレビュー付PPVのコンテンツをマルチキャスト方式で配信する一連の処理について図10のタイミングチャートを参照して説明する。なお、DTV2のユーザは、サーバ3に対して基本的なユーザ登録を済ませており、ユーザIDおよびドメインIDの発行を受け、決済情報（クレジットカード番号、銀行口座番号等）を既に通知しているものとする。

【0138】

ステップS201において、DTV2のブラウザ23は、ユーザの操作に対応して、プレビュー付PPVが可能なコンテンツが同報配信されるチャンネルの受信をサブスクリプション契約するためにショップサーバ71にアクセスし、ショップサーバ71から供給されるナビゲーション情報に基づき、ユーザが当該チャンネル等の一覧を、表示部22に表示させる。この表示に対して、ユーザが、サブスクリプション契約するチャンネル（以下、購入の単位としてパッケージとも記述する）を選択した場合、ブラウザ23は、当該チャンネルをサブスクリプション契約するための登録情報（ユーザを特定する情報（ユーザID）、購入するパッケージを特定する情報（パッケージID）等）を、ショップサーバ71に送信する。

【0139】

ステップS211において、ショップサーバ71は、ドメインサーバ76にユーザIDを通知して、ドメインサーバ76がユーザIDに対応して予め発行したドメインIDを取得する。

【0140】

ステップS212において、ショップサーバ71は、メタデータDB73に接続し、ブラウザ23から通知されたパッケージIDを通知して、パッケージIDによって特定されるパッケージに対応するライセンスIDリストを取得する。いまの場合、ライセンスIDリストには、プレビュー付PPVが可能なチャンネルに対応する2階層ライセンス方式のメインライセンスのライセンスIDが記載されている。

【0141】

ステップS213において、ショップサーバ71は、取得したドメインIDおよびライセンスIDリストを、DRMサーバ74に転送する。これに対応して、DRMサーバ74は、転送されたドメインIDとライセンスIDリストを対応付けて記憶する。ステップS214において、ショップサーバ71は、DTV2のブラウザ23がパッケージ情報ファイルを取得するために必要な情報を含む、当該サブスクリプション契約の登録が完了した旨を示す情報を、ブラウザ23に通知する。この通知に対応し、ブラウザ23は、サブスクリプション契約の登録と決済の完了をユーザに表示させるとともに、ショップサーバ71に接続してパッケージ情報ファイルを取得する。

【0142】

ブラウザ23がショップサーバ71から取得するパッケージ情報ファイルは、サブスクリプション契約されたパッケージに対応するライセンスID、ライセンスの取得先であるDRMサーバ74のURL、およびメタデータの取得先であるメタデータDB73のURLが含まれている。

【0143】

パッケージ情報ファイルを取得したブラウザ23は、ステップS202において、ヘルパーアプリケーションとしてパッケージ情報処理エージェント31を起動する。パッケージ情報処理エージェント31は、取得されたパッケージ情報ファイルに含まれるライセンスIDおよびDRMサーバ74のURL、並びにユーザに対応するドメインIDを、DRMエージェント25を介してDRMクライアント26に通知し、プレビュー付PPVが可能なチャンネルのメインライセンス（以下、PPVライセンスと記述する）の取得を依頼する。この依頼に対応して、DRMクライアント26は、DRMサーバ74に接続して、ライセンスIDおよびドメインIDを送信し、ライセンスIDに対応するPPVライセンスの取得を要求する。

【0144】

この要求に対応し、ステップS221において、DRMサーバ74は、送信されたドメインIDが送信元のDTV2に対して正規に発行されたものであって、かつ、送信されたライセンスIDに対応するPPVライセンスが、送信されたドメインIDに対して供給が許可されているものであるか否かを判断し、両条件が満たされた場合、DRMクライアント26からの要求が正当なものであると判断して、ライセンスIDに対応するPPVライセンスを、DRMクライアント26に供給する。DRMクライアント26は、供給されたPPVライセンスをセキュアに保管し、PPVライセンスの取得完了をDRMエージェント25に通知する。この段階で、サブスクリプション契約によって購入したレビュー付PPVが可能なチャンネルで同報配信されるコンテンツを利用するためには必要なPPVライセンスとサブライセンスのうち、PPVライセンスの取得が完了したことになる。

【0145】

ステップS203において、パッケージ情報処理エージェント31は、取得されたパッケージ情報ファイルに含まれるメタデータDB73のURLに基づき、メタデータDB73に接続して、購入したパッケージ（レビュー付PPVが可能なコンテンツが同報配信されるチャンネルの受信権）に対応するパッケージメタの取得を要求する。

【0146】

この要求に対応し、ステップS231において、メタDB73は、要求されたパッケージメタを、クライアントメタデータDB29に供給して保持させる。ここまで処理が行われた後、パッケージ情報処理エージェント31の処理が終了される。そしてこの後、クライアントアプリ28により、メタデータDB73から、購入したパッケージに対応するチャンネルで同報配信されるコンテンツに対応するコンテンツメタが定期的に取得されて、クライアントメタDB29に保持される。

【0147】

そしてこの後、サブスクリプション契約したチャンネルで同報配信されるコンテンツを視聴する場合、ユーザは、クライアントアプリケーション28を起動する。ステップS241において、クライアントアプリケーション28は、クライアントメタデータDB29に保持されているメタデータを参照して、この時点で視聴可能な同報配信されるコンテンツのリストをユーザに表示する。この表示に対し、ユーザがコンテンツを選択して視聴開始の指示操作を行うと、ステップS242において、クライアントアプリケーション28は、メタデータを参照して、PPVライセンスのライセンスID、DRMサーバ74のURL、およびドメインIDを、DRMエージェント25を介してDRMクライアント26に通知し、PPVライセンスが取得済であることを確認する。

【0148】

PPVライセンスの取得済が確認された後、ステップS243において、クライアントアプリケーション28は、ユーザによって選択されたコンテンツに対応する、取得済のメタデータを参照して、コンテンツサーバ75の同報配信用のURL（マルチキャストアドレス）を取得し、コンテンツサーバ75のマルチキャストアドレスを指定して、コンテンツプレーヤ24に再生を依頼する。この依頼に対応し、コンテンツ再生部24は、指定されたマルチキャストアドレスに接続し、そこで同報配信されているMPEG2-TSの受信を開始する。

【0149】

ステップS251において、コンテンツ再生部24は、受信しているMPEG2-TSから、順次、PAT(Program Association Table)、PMTを抽出し、さらに、PMTのCA記述子に基づいてECMセッションの存在を検知し、ECMセッションを抽出する。コンテンツ再生部24は、ECMセッションのECM本体のヘッダの中に含まれるサブライセンスに関する情報のうち、タイプ情報を参照することによってレビュー用のサブライセンスを検索して抽出し、抽出したレビュー用のサブライセンスを、DRMエージェント25を介してDRMクライアント26に転送する。DRMクライアント26は、転送されたレビュー用のサブライセンスを、取得済のPPVライセンスに対応付けて記憶する。

【0150】

ステップS252において、コンテンツ再生部24は、プレビュー用のサブライセンスのライセンスIDとドメインIDを、DRMクライアント26に通知して、対応するコンテンツキーKcの供給を要求する。DRMクライアント26は、ppvライセンスに含まれるワークキーKwを用いてプレビュー用のサブライセンスの暗号を解き、得られた利用条件がこの時点において満たされていれば、ライセンスに含まれるコンテンツキーKcとプレビュー用利用条件をセキュアにコンテンツ再生部24に転送する。コンテンツ再生部24は、内蔵する復号部にコンテンツキーKcをセットし、プレビュー用利用条件の適用を開始する。プレビュー用利用条件には、プレビューが許可される期間（例えば、コンテンツの冒頭X分間からからY分まで等）が記載されている。コンテンツ再生部24は、MPEG2-TSの暗号を復号してデコードし、呈示部22に映像および音声の呈示を開始させる。これにより、コンテンツのプレビューが開始される。

【0151】

ステップS253において、コンテンツ再生部24は、プレビューの開始をクライアントアプリケーション28に通知する。この通知に対応して、クライアントアプリケーション28は、当該コンテンツを購入して本視聴するようにユーザに促す表示を呈示させる。この呈示に対してユーザが当該コンテンツの購入を指示した場合、ステップS244において、クライアントアプリケーション28は、コンテンツ再生部24に対してコンテンツの本視聴再生を指示する。

【0152】

ステップS254において、コンテンツ再生部24は、受信しているMPEG2-TSのECMセッションのECM本体のヘッダの中に含まれるサブライセンスに関する情報のうち、タイプ情報を参照することによって本視聴用のサブライセンスを検索して抽出し、抽出した本視聴用のサブライセンスを、DRMエージェント25を介してDRMクライアント26に転送する。DRMクライアント26は、転送された本視聴用のサブライセンスを、取得済のppvライセンスに対応付けて記憶する。

【0153】

ステップS255において、コンテンツ再生部24は、本視聴用のサブライセンスのライセンスIDとドメインIDを、DRMクライアント26に通知して、対応するコンテンツキーKcの供給を要求する。DRMクライアント26は、ppvライセンスに含まれるワークキーKwを用いて本視聴用のサブライセンスの暗号を解き、得られた利用条件がこの時点において満たされていれば、ライセンスに含まれるコンテンツキーKcと本視聴用利用条件をセキュアにコンテンツ再生部24に転送する。コンテンツ再生部24は、内蔵する復号部にコンテンツキーKcをセットし、この時点でプレビュー用利用条件に定められているプレビュー時間を経過していなければ、再生を滞らせることなくシームレスに、コンテンツの再生を継続する。反対に、この時点でプレビュー用利用条件に定められているプレビュー時間が経過しているならば、再生が停止されているので、コンテンツの再生を再開する。そして、再生が継続または再開された時点で、本視聴用利用条件の適用を開始する。

【0154】

なお、プレビュー時に用いられたコンテンツキーKcと本視聴時に用いられるコンテンツキーKcを同一のものとして、本視聴時において、プレビュー時に用いられたコンテンツキーKcを流用するようにしてもよい。

【0155】

この後、再生しているコンテンツが終了まで達したり、ユーザによって再生停止が指示されたりした場合、ステップS256において、コンテンツ再生部24は、コンテンツサーバ75のマルチキャストアドレスからの受信を停止する。ステップS257において、コンテンツ再生部24は、再生終了と今回のppvの利用状況を、DRMクライアント26に通知する。DRMクライアント26は、DRMサーバ74に接続し、ppvの利用状況をセキュアにアップロードする。このアップロードに対応し、ステップS61において、DRMサーバ74は、ppvの利用状況に基づいてユーザに対する課金額を算出した後、決済サーバ72に

決済を依頼する。

【0156】

なお、この時点で決済を行うのではなく、例えば、本視聴用のサプライセンスを利用して、本視聴を開始した時点で決済を行うようにしてもよい。

【0157】

この後、コンテンツ再生部24は、処理を終了する。クライアントアプリケーション28は、再びクライアントメタデータDB29に保持されているメタデータを参照して、この時点で視聴可能な同報配信されるコンテンツのリストをユーザに表示することになる。以上で、プレビュー付PPVのコンテンツをマルチキャスト方式で配信する一連の処理の説明を終了する。

【0158】

以上説明したように、本発明を適用したコンテンツ配信システムによれば、マルチキャスト方式を適用したインターネットを介するコンテンツ配信において、著作権保護とプレビュー付ペイパービューの両立が実現される。なお、上述した一連の処理を、オンデマンド方式でコンテンツを配信する場合に適用することができ、例えば、コンテンツの冒頭の数分間をプレビュー用としてプロモーションに用いる等の応用が可能となる。

【0159】

以上においては、本発明をDTVに応用した場合を例として説明したが、本発明は、ビデオカセットレコーダ、テレビチューナ、ハードディスクレコーダ、DVD(Digital Versatile Disk)レコーダ、その他各種のコンテンツ処理装置に適用することができる。

【0160】

また、配信するコンテンツは、テレビジョン放送の番組に限らず、各種のコンテンツとすることができる。

【0161】

ところで、上述した一連の処理は、ハードウェアにより実行させることもできるし、ソフトウェアにより実行させることもできる。この場合、例えば、DTVには、CPU(Central Processing Unit)等が搭載されたコンピュータが搭載され、コンピュータが当該ソフトウェアを実行することになる。

【0162】

なお、本明細書において、記録媒体に記録されるプログラムを記述するステップは、記載された順序に沿って時系列的に行われる処理はもちろん、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的あるいは個別に実行される処理をも含むものである。

【0163】

また、本明細書において、システムとは、複数の装置により構成される装置全体を表すものである。

【図面の簡単な説明】

【0164】

【図1】本発明を適用したコンテンツ配信システムの構成例を示すブロック図である。

【図2】図1のDTVとサーバの構成例を示すブロック図である。

【図3】1階層ライセンス方式が適用された場合における、コンテンツとライセンスの配信の概要を表す図である。

【図4】2階層ライセンス方式が適用された場合における、コンテンツとライセンスの配信の概要を表す図である。

【図5】コンテンツの構成例を示す図である。

【図6】PPC契約で販売されるコンテンツと、それに対応する1階層ライセンス方式のライセンスの配信に関する一連の処理を説明するタイミングチャートである。

【図7】パッケージ情報ファイルに含まれる情報の一例を示す図である。

【図8】サブスクリプション契約で販売されるコンテンツと、それに対応する2階層ライセンス方式のライセンス（メインライセンス、およびサプライセンス）の配信に

関する一連の処理を説明するタイミングチャートである。

【図9】MPEG2-TSのECMセクションの構造例を示す図である。

【図10】プレビュー付PPVのコンテンツをマルチキャスト方式で配信する一連の処理を説明するタイミングチャートである。

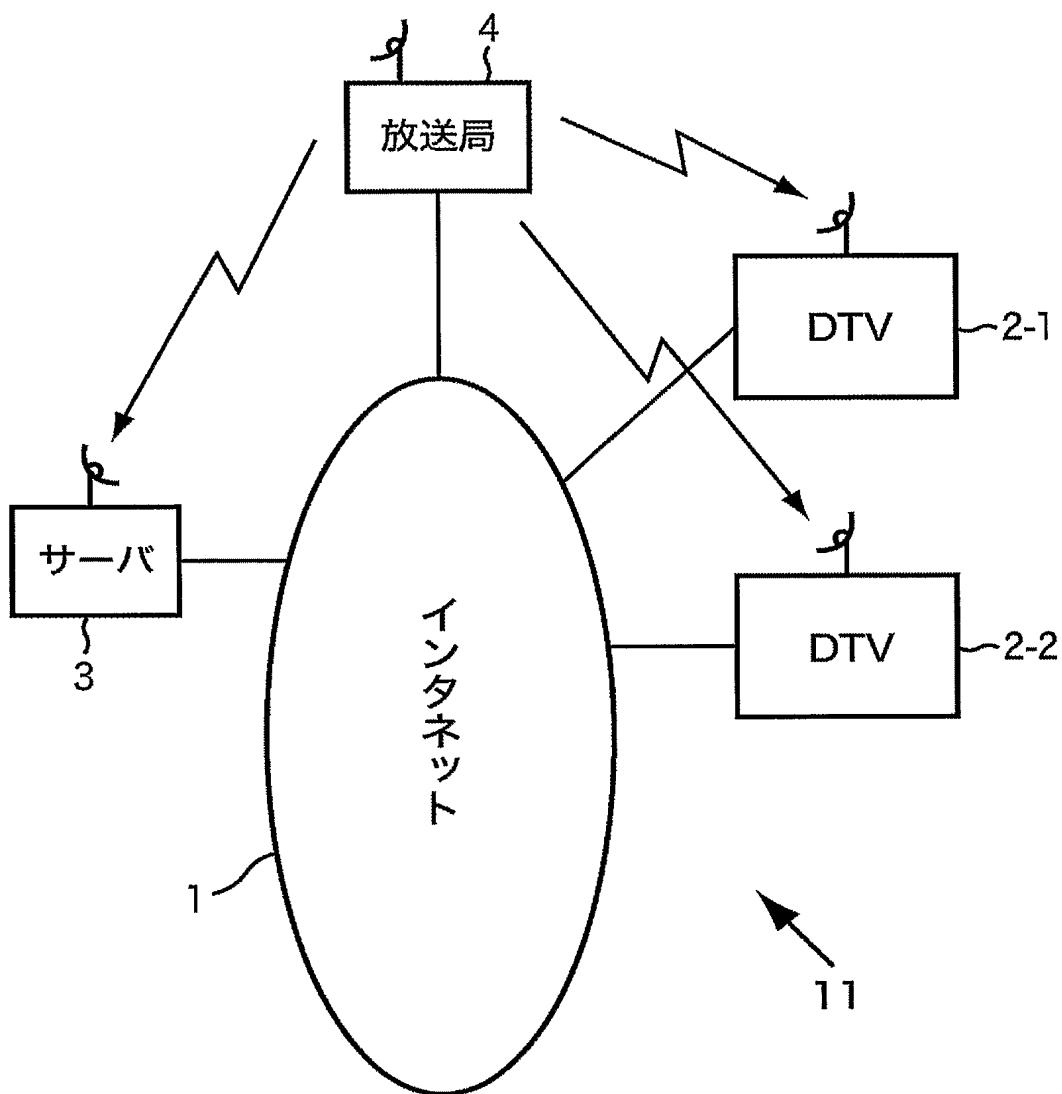
【符号の説明】

【0165】

1 インタネット, 2 DTV, 3 サーバ, 23 ブラウザ, 24 コンテンツ再生部, 25 DRMエージェント, 26 DRMクライアント, 27 コンテンツ記憶部, 28 クライアントアプリケーション, 29 クライアントメタデータDB, 30 ダウンロードエージェント, 31 パッケージ情報処理エージェント, 71 ショップサーバ, 72 決済サーバ, 73 メタデータDB, 74 DRMサーバ, 75 コンテンツサーバ, 76 ドメインサーバ

【書類名】 図面
【図 1】

図 1



【図2】

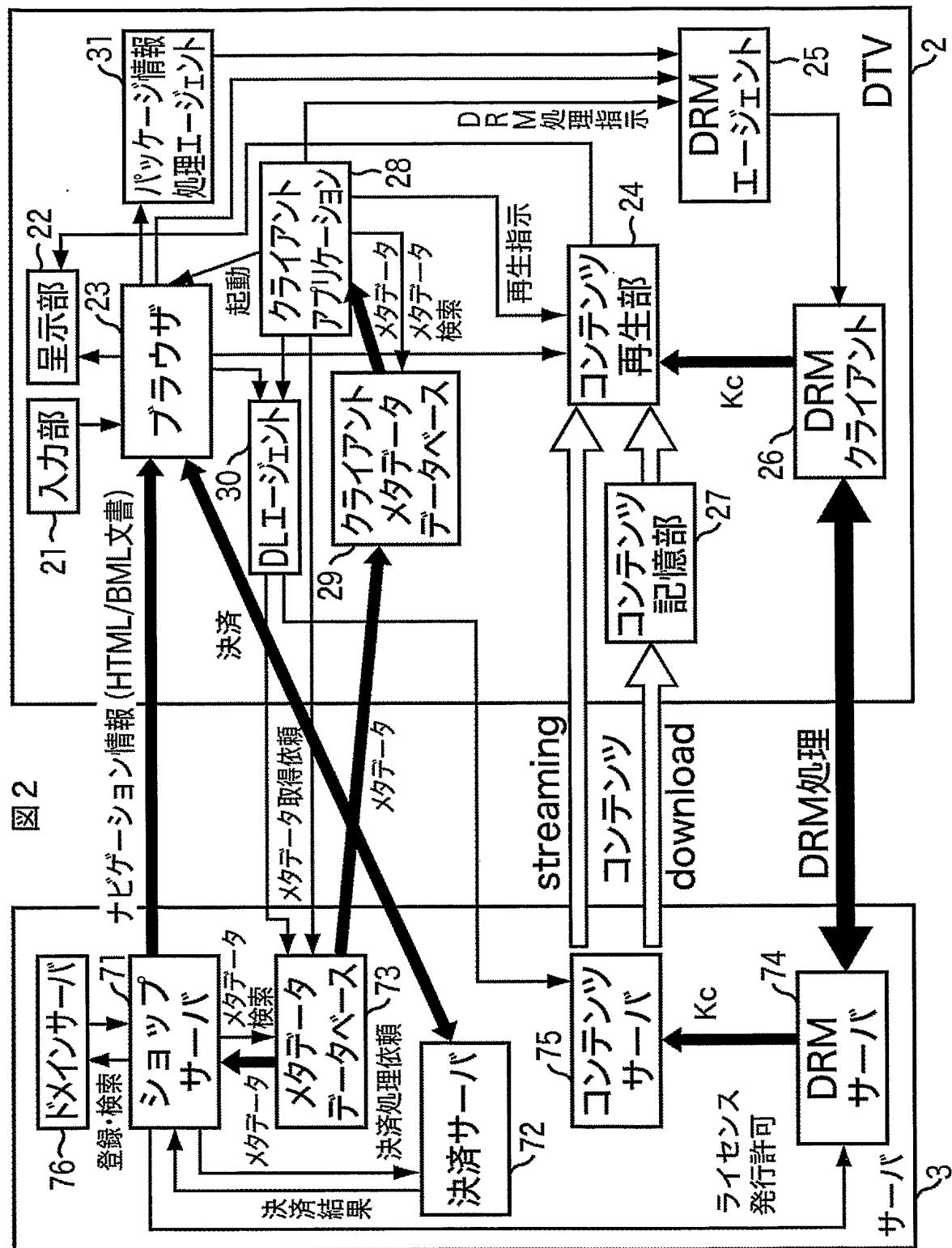
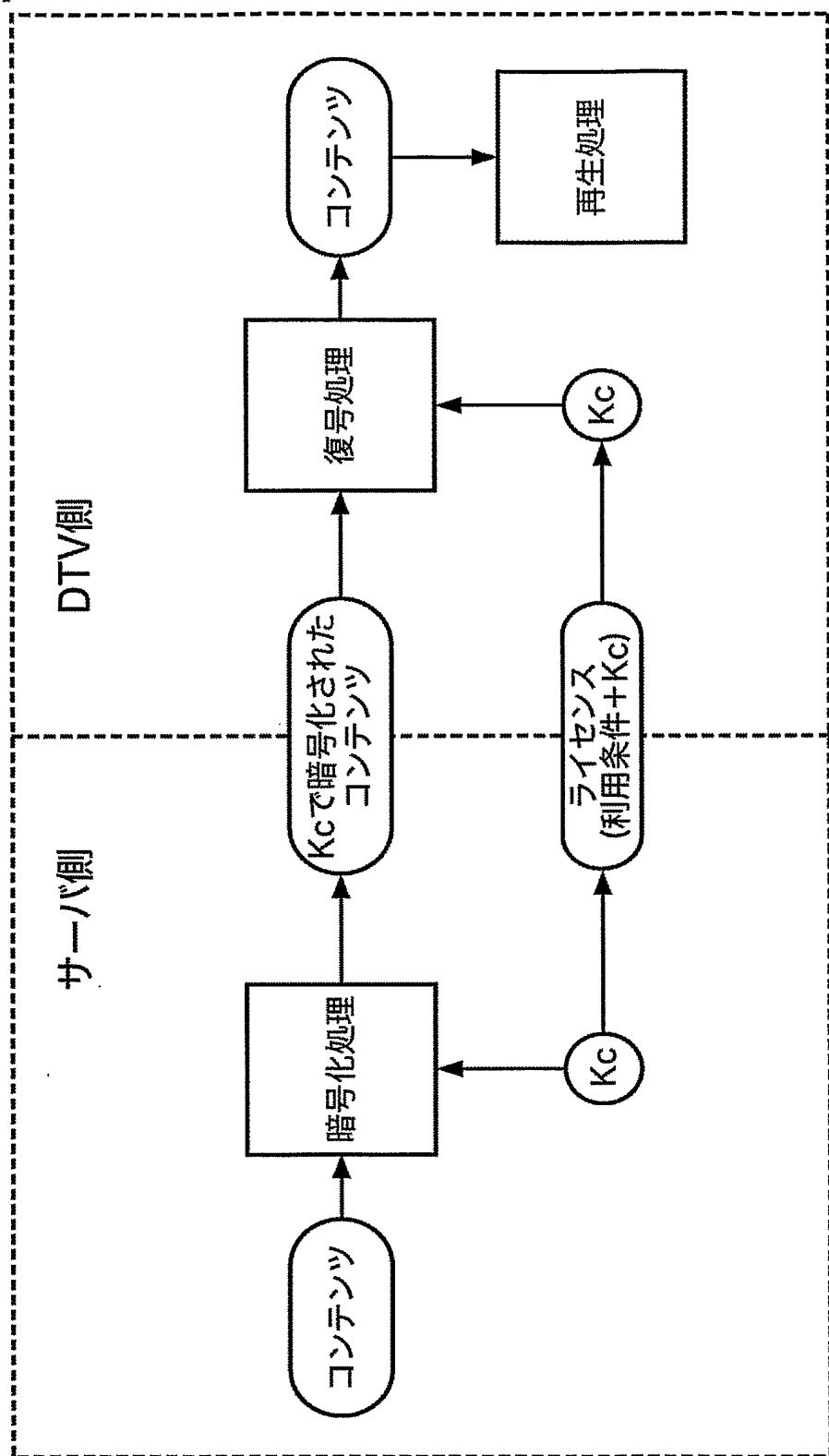


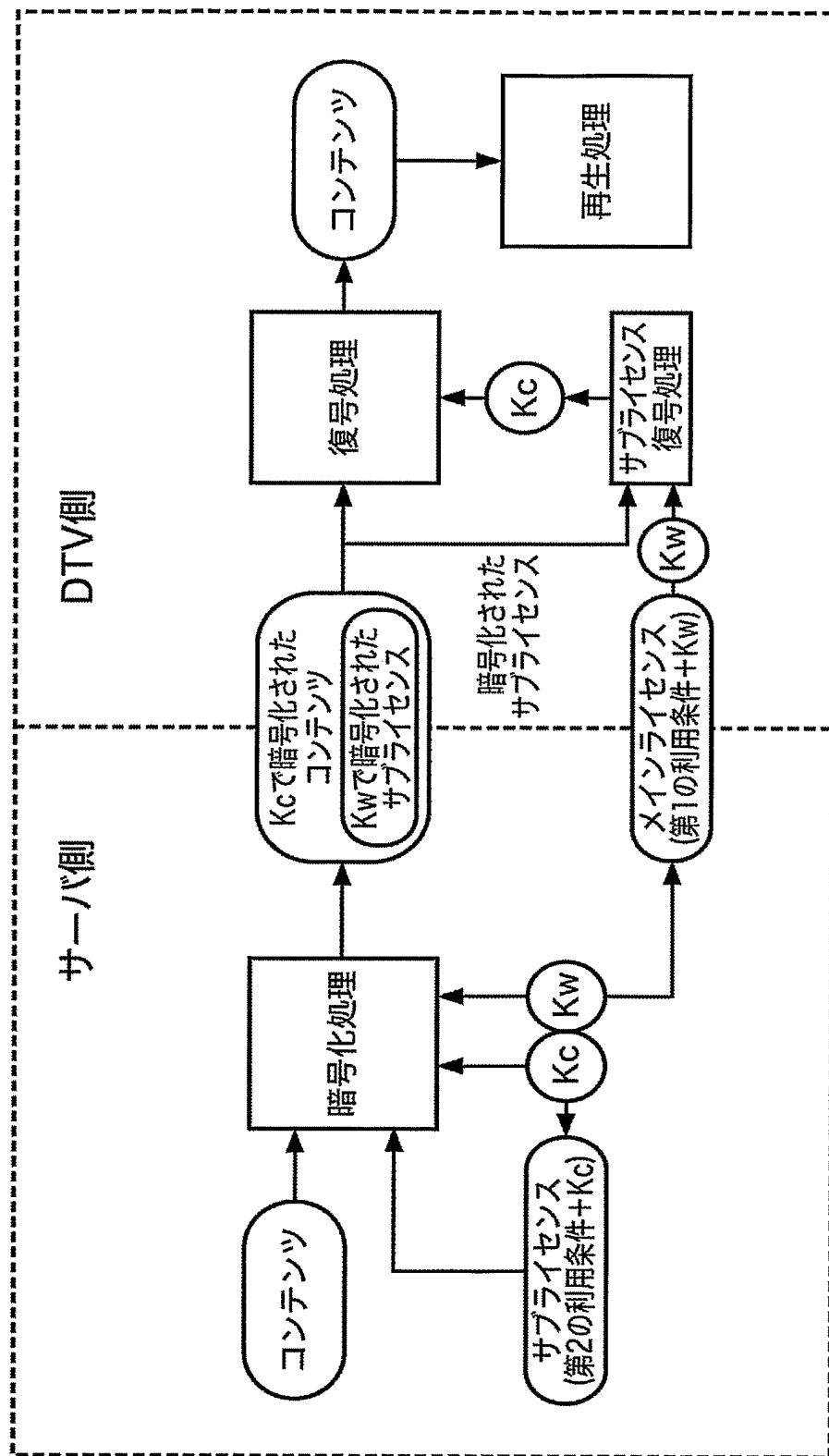
図3

【図3】



【図4】

図4



【図 5】

図 5

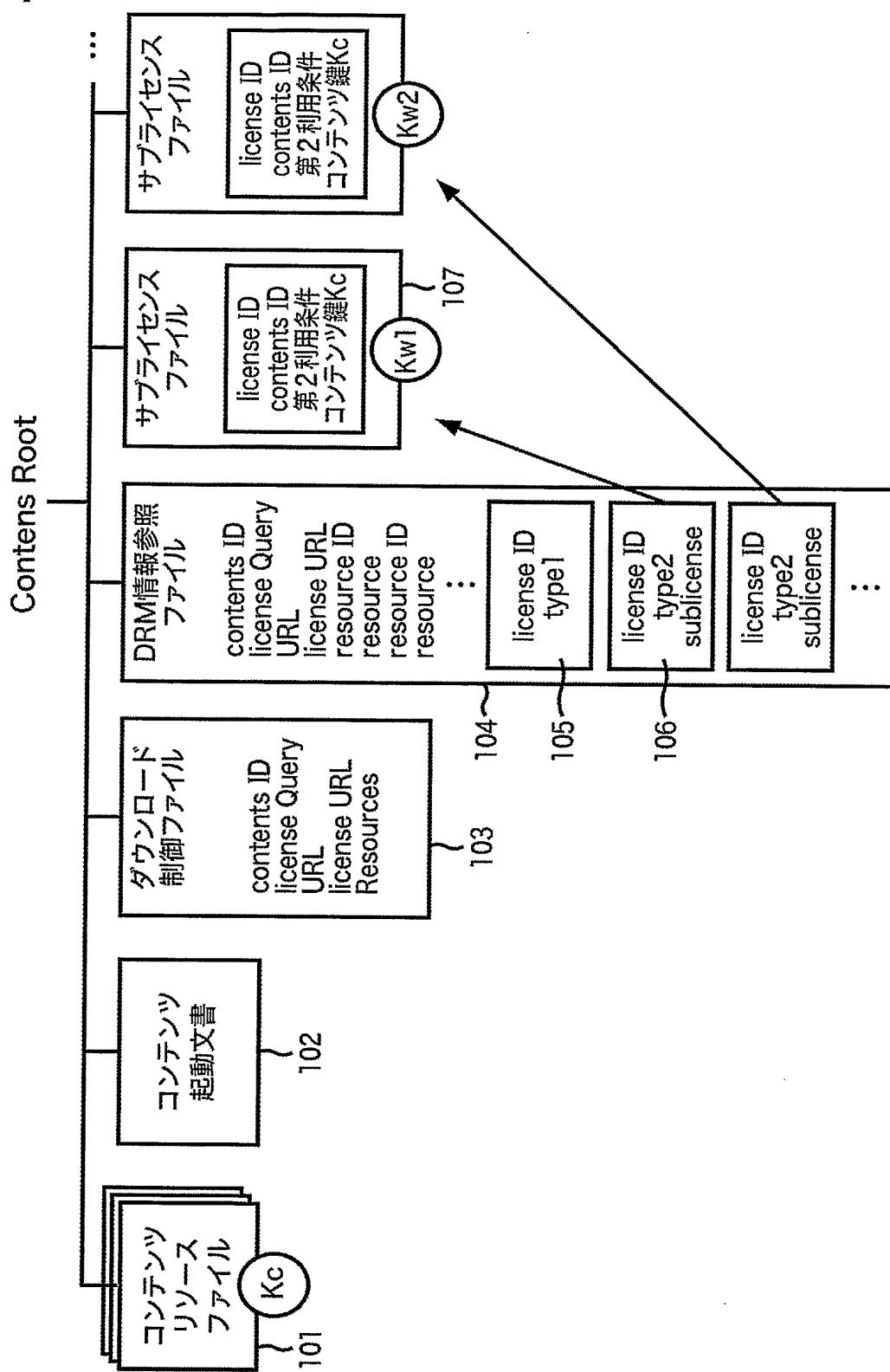
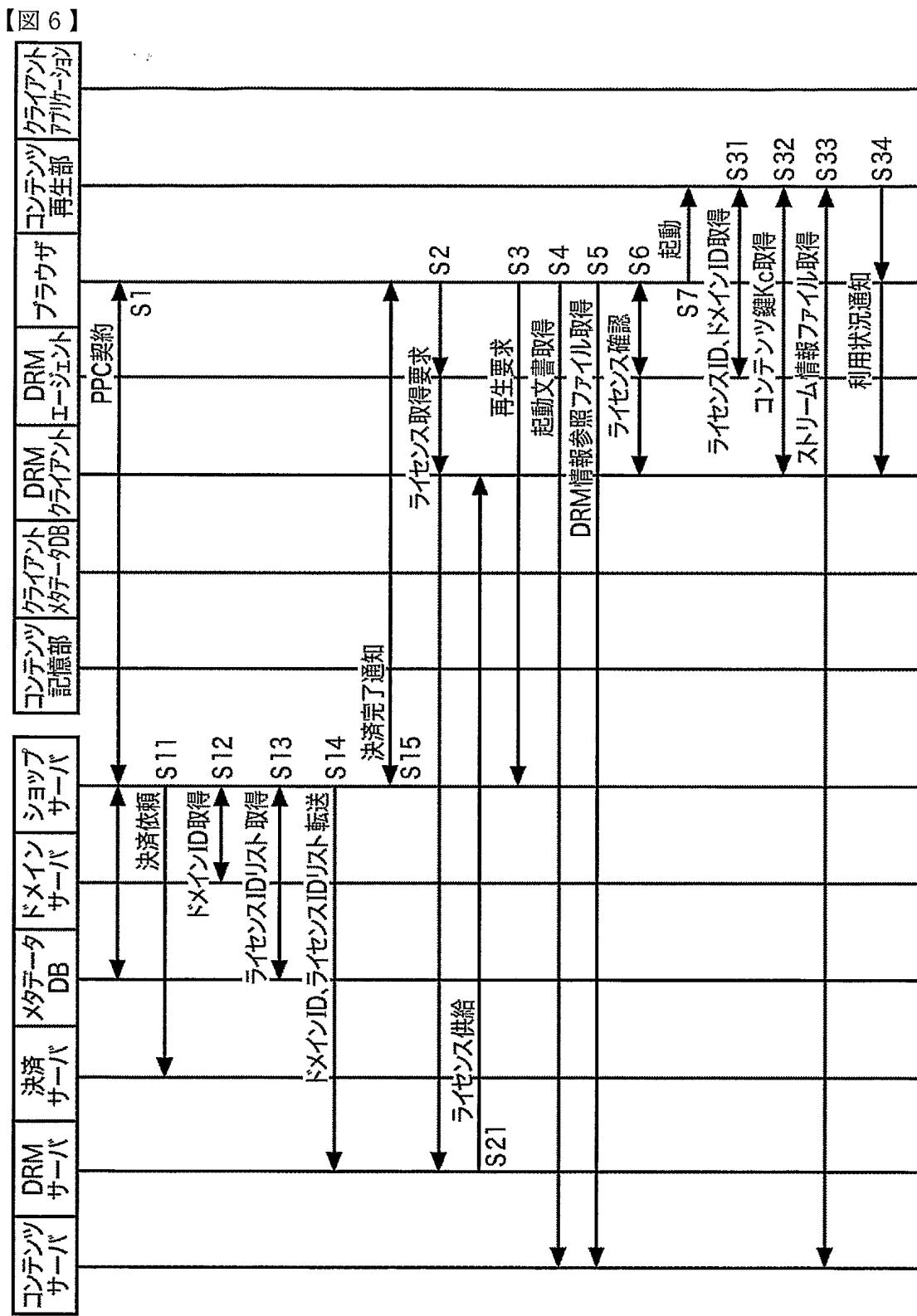


図 6



【図7】

図7

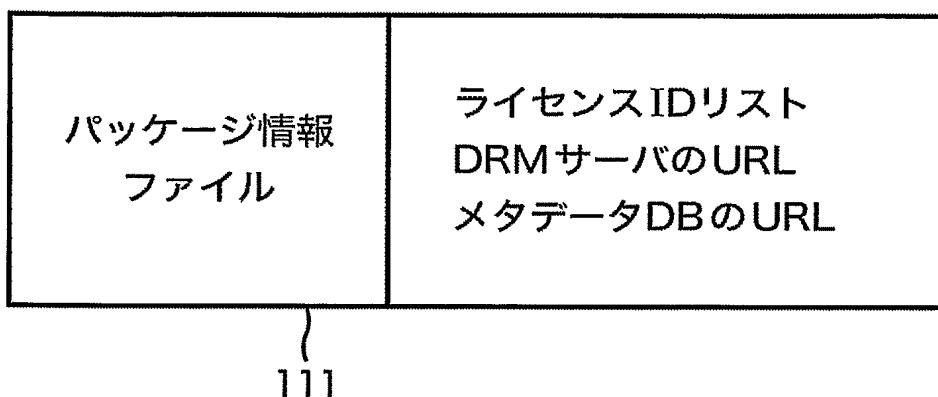
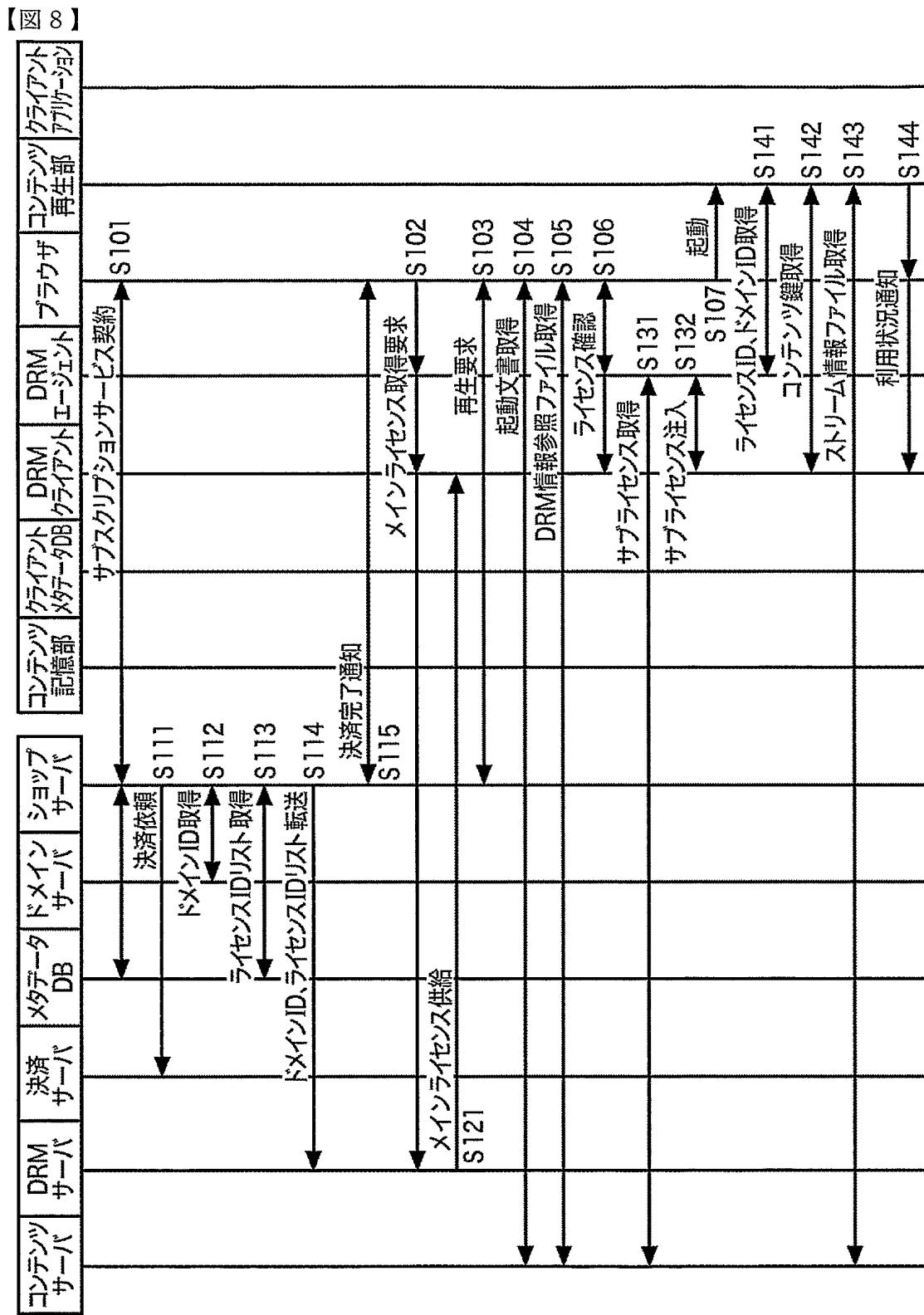


図 8



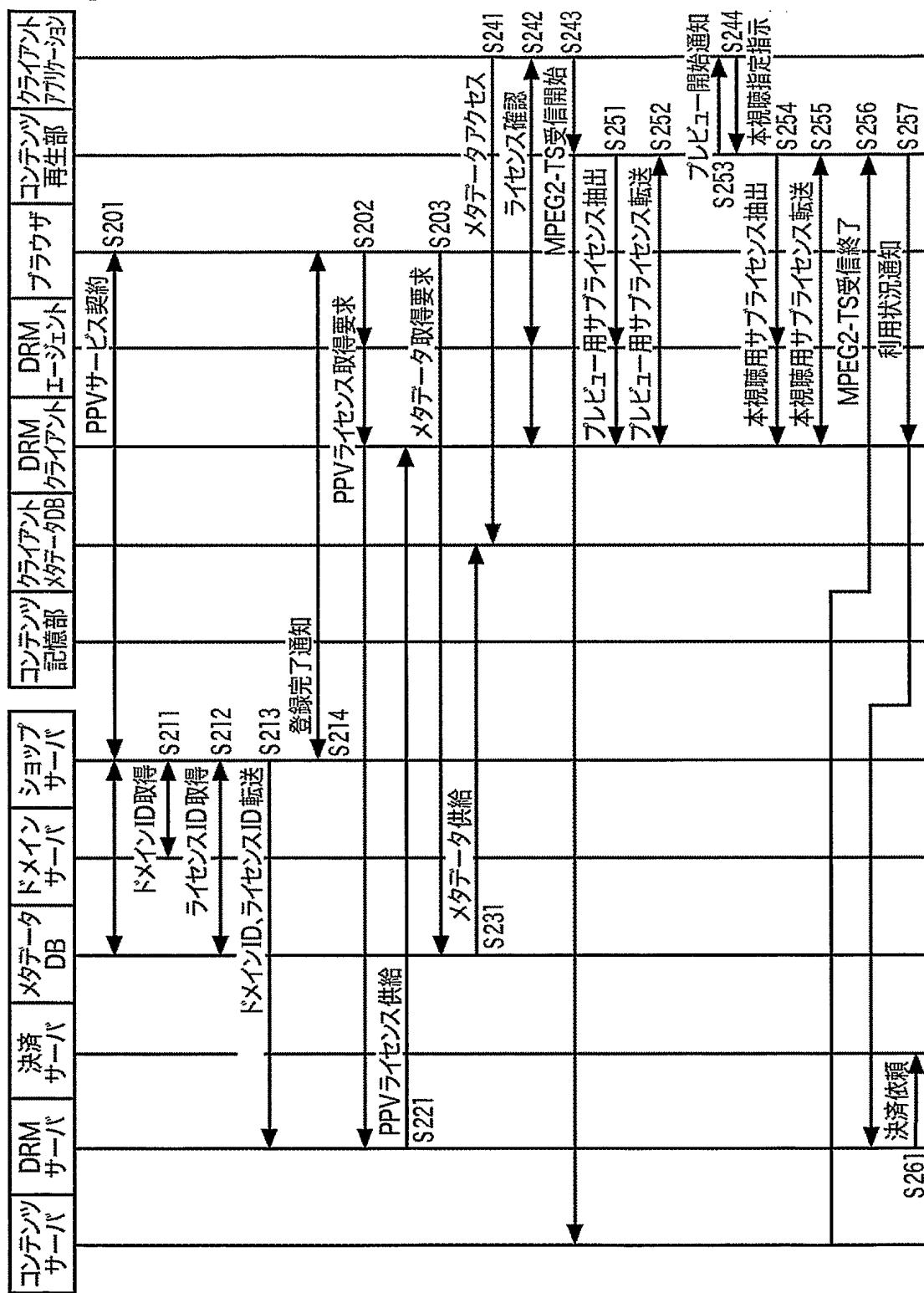
【図9】

図9

構成		サイズ		
ECMセクションヘッダ (テーブル識別子 0x82)		8 Byte		
ECMセクション ECM本体	ヘッダ	プロトコル番号	1 Byte	
		事業体識別	1 Byte	
		ワーク鍵識別	1 Byte	
		コンテンツID	16 Byte	
		視聴中コンテンツのodd/even	1 Byte	
		サブライセンス数(現在の番組)	4 Byte	
		1 ライセンスID	16 Byte	
		タイプ	1 Byte	
		ロケーション	2 Byte	
		~		
		n ライセンスID	16 Byte	
		タイプ	1 Byte	
		ロケーション	2 Byte	
		サブライセンス数(次の番組)	4 Byte	
		1 ライセンスID	16 Byte	
		タイプ	1 Byte	
		ロケーション	2 Byte	
		~		
		n ライセンスID	16 Byte	
		タイプ	1 Byte	
		ロケーション	2 Byte	
ライセンス部		ライセンス×サブライセンス数	可変長	
セクションCRC		4 Byte		

図 10

【図 10】



【書類名】要約書

【要約】

【課題】マルチキャスト方式を適用したインターネットを介するコンテンツ配信において、著作権保護とプレビュー付ペイパー・ビューの両立を実現する。

【解決手段】ECM本体の各サブライセンスに関する情報は、サブライセンスの識別情報であるライセンスID、当該サブライセンスがプレビュー用または本視聴用であるかの区別を示すタイプ情報、および当該サブライセンスのライセンス部における格納位置(ECM本体の先頭からバイト数)を示すロケーションから構成される。ライセンス部には、サブライセンスが格納される。本発明は、テレビジョン受像機等に適用することができる。

【選択図】図9

特願 2003-407454

出願人履歴情報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住所 東京都品川区北品川6丁目7番35号
氏名 ソニー株式会社

特願 2003-407454

出願人履歴情報

識別番号 [000005821]

1. 変更年月日 1990年 8月28日

[変更理由] 新規登録

住所 大阪府門真市大字門真1006番地
氏名 松下電器産業株式会社